

茅野市の今後の公共施設等のあり方に関する
市民アンケートの調査結果

平成 27 年 12 月

茅野市公共施設総合管理室

目次

I	調査の概要	1
II	調査の結果	3
1	回答者自身に関する調査	4
問1	性別	4
問2	年齢	4
問3	家族構成	5
問4	居住地区	5
2	公共施設等の利用状況に関する調査	6
問5	公共施設の利用状況について	6
問5-1	図書館	6
問5-2	博物館	7
問5-3	スポーツ施設	8
問5-4	文化・芸術施設	9
問5-5	温泉施設	10
問5-6	子育て支援施設	11
問5-7	医療施設	12
問5-8	公園	13
問5-9	行政施設	14
問5	各施設一覧表	15
問5	結果のまとめ	16
3	今後の公共施設等のあり方に関する調査	17
問6	公共施設の今後のあり方について	17
問6	結果のまとめ	17
4	今後の施設分類ごとの公共施設のあり方に関する調査	18
問7	公共施設の利用状況について	18
問7-1	図書館	18
問7-2	博物館	18
問7-3	スポーツ施設	19
問7-4	文化・芸術施設	19
問7-5	温泉施設	20

問 7-6	子育て支援施設	20
問 7-7	医療施設	21
問 7-8	公園	21
問 7-9	保育園	22
問 7-10	小学校	22
問 7-11	行政施設	23
問 7	各施設一覧表	24
問 7	結果のまとめ	25
問 8	インフラ施設について	26
問 8	結果のまとめ	26
問 9	自由記入欄	27
問 9	結果のまとめ	30

Ⅲ クロス集計の結果 31

1	男女別集計	32
	問 5 最も割合が高かった項目	32
	問 6	33
	問 7 最も割合が高かった項目	34
	男女別集計結果まとめ	35

2	年齢別集計	36
	問 5 最も割合が高かった項目	36
	問 6	37
	問 7 最も割合が高かった項目	39
	年齢別集計 結果のまとめ	40

3	子育て世帯集計	42
	問 2	42
	問 5	43
	問 6	44
	問 7	45
	子育て世帯集計 結果のまとめ	46

4	地区別集計	47
	問 5 最も割合が高かった項目	47
	問 6	48

問 7 最も割合が高かった項目	51
地区別集計 結果のまとめ	52
5 問 6、問 7 間のクロス集計	53
問 6 選択肢 1 を選択した人が問 7 のいずれを選択したか	54
問 6 選択肢 2 を選択した人が問 7 のいずれを選択したか	54
問 6 選択肢 3 を選択した人が問 7 のいずれを選択したか	55
問 6 選択肢 4 を選択した人が問 7 のいずれを選択したか	56
問 6 と問 7 間のクロス集計 結果のまとめ	57
6 問 5 の利用しない理由で「関心がないなど、そもそも利用する必要がないため。」 を選択した場合の問 7 とのクロス集計	58
問 7	58
問 5 の利用しない理由で「関心がないなど、そもそも利用する必要が ないため。」を選択した場合の問 7 とのクロス集計 結果のまとめ	59

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

茅野市では、今後も続くことが予想される人口減少に伴い、市税収入等の減少が見込まれるなど財政状況が一層厳しさを増し、現状のまま公共施設を維持していくことが困難な状況になっていきます。このため、公共施設（建物）やインフラ（道路・橋・上下水道等）の将来を見通した公共施設等のあり方を市民の皆様に尋ね、公共施設等総合管理計画に反映させることを目的としています。

2 調査内容

- 1 回答者自身に関する調査
- 2 公共施設等の利用状況に関する調査
- 3 今後の公共施設等のあり方に関する調査
- 4 今後の施設分類ごとの公共施設のあり方に関する調査

3 調査設計

- ・ 調査対象者 市内在住の20歳以上80歳未満の方
- ・ 対象者数 2,000人
- ・ 対象者抽出方法 無作為抽出
- ・ 調査期間 平成27年9月16日（水）～平成27年9月30日（水）
- ・ 調査方法 郵送配布郵送回収

4 回収結果

- ・ 回収数 848人（42.4%）

5 その他

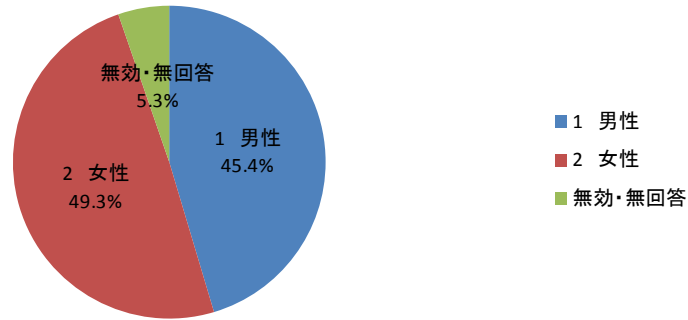
- ・ 調査にあたっては、回答する上で参考となるように、茅野市の公共施設の現状や課題をまとめた資料を同封しました。
- ・ 割合はすべて%であらわし、小数点第2位を四捨五入しているため、%の合計が100%にならない場合があります。

Ⅱ 調査の結果

1. 回答者自身に関する調査

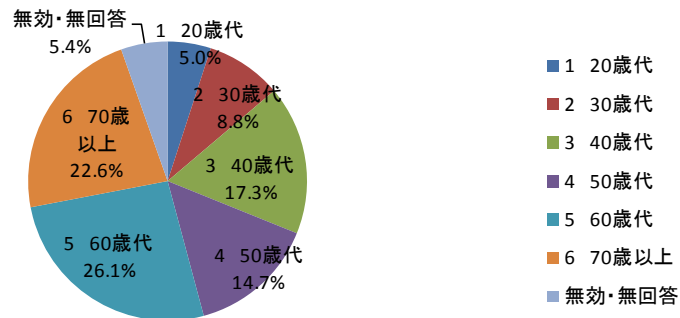
問1 あなたの性別を教えてください。(○を1つ付けてください)

回答番号	データの個数	割合
1 男性	385	45.4
2 女性	418	49.3
無効・無回答	45	5.3
合計	848	100.0

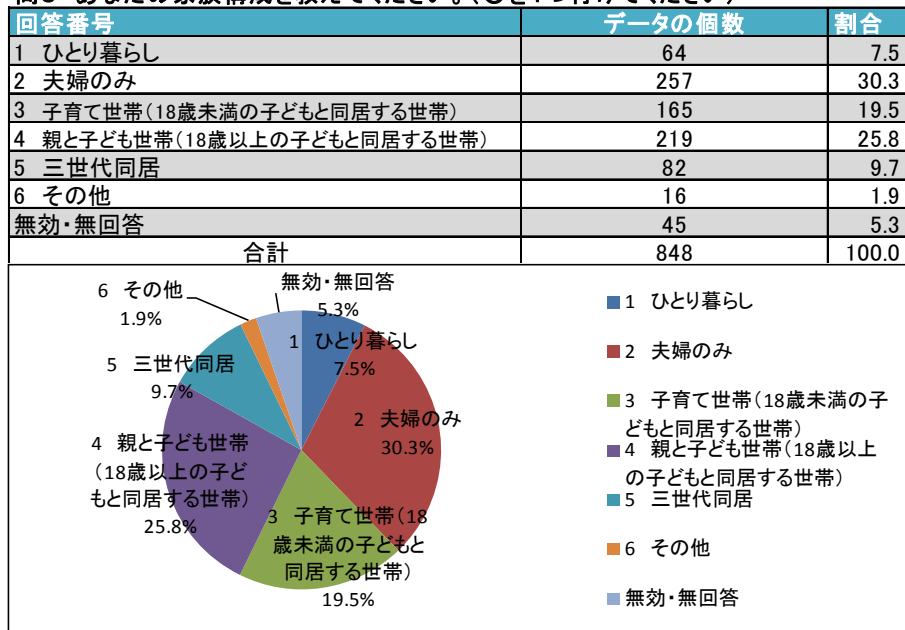


問2 あなたの年齢を教えてください。(○を1つ付けてください)

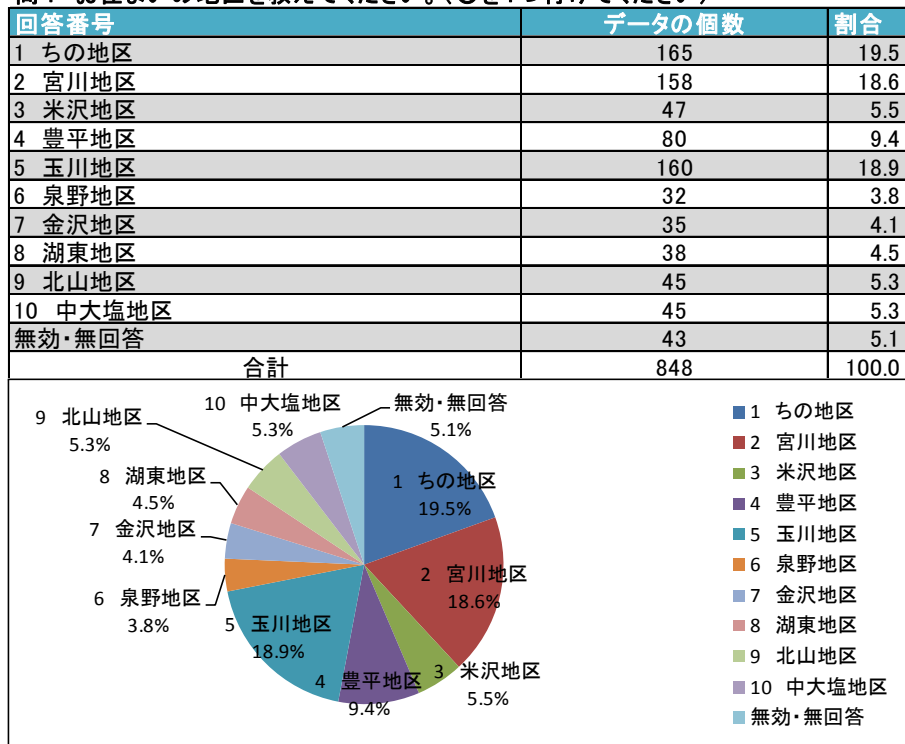
回答番号	データの個数	割合
1 20歳代	42	5.0
2 30歳代	75	8.8
3 40歳代	147	17.3
4 50歳代	125	14.7
5 60歳代	221	26.1
6 70歳以上	192	22.6
無効・無回答	46	5.4
合計	848	100.0



問3 あなたの家族構成を教えてください。(○を1つ付けてください)



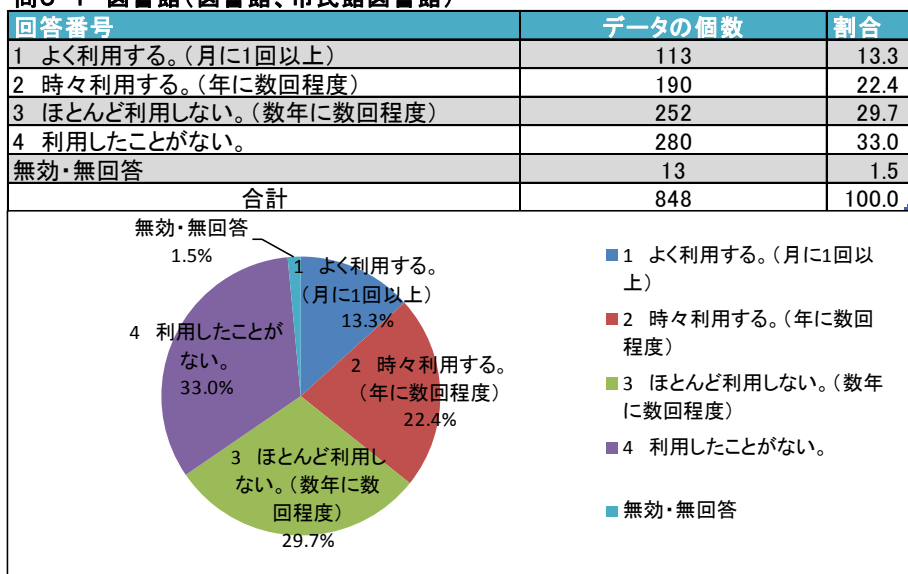
問4 お住まいの地区を教えてください。(○を1つ付けてください)



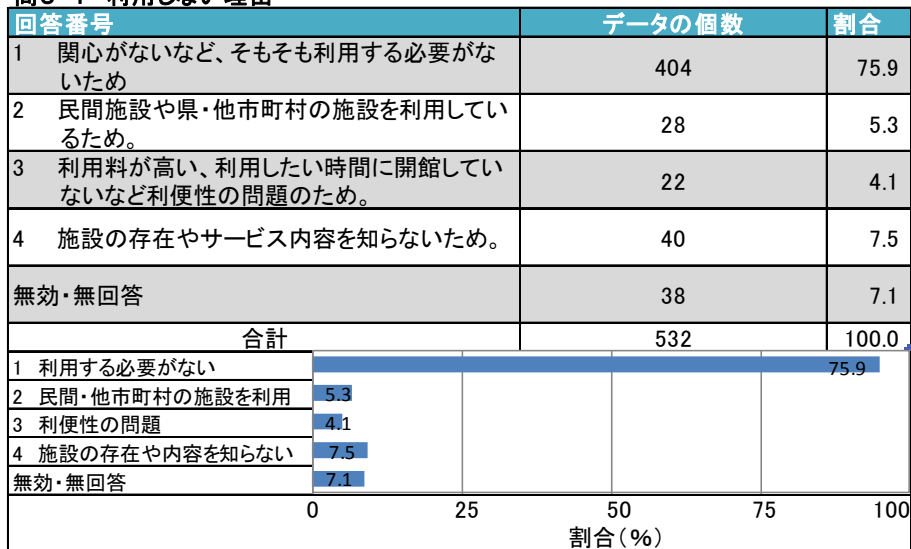
2. 公共施設等の利用状況に関する調査

問5 あなたご自身は、市の主な公共施設をどのくらい利用していますか。「ほとんど利用しない」「利用したことがない」と回答された施設の分類については、その主な理由を教えてください。(施設の分類ごとに、それぞれ○を1つ付けてください)

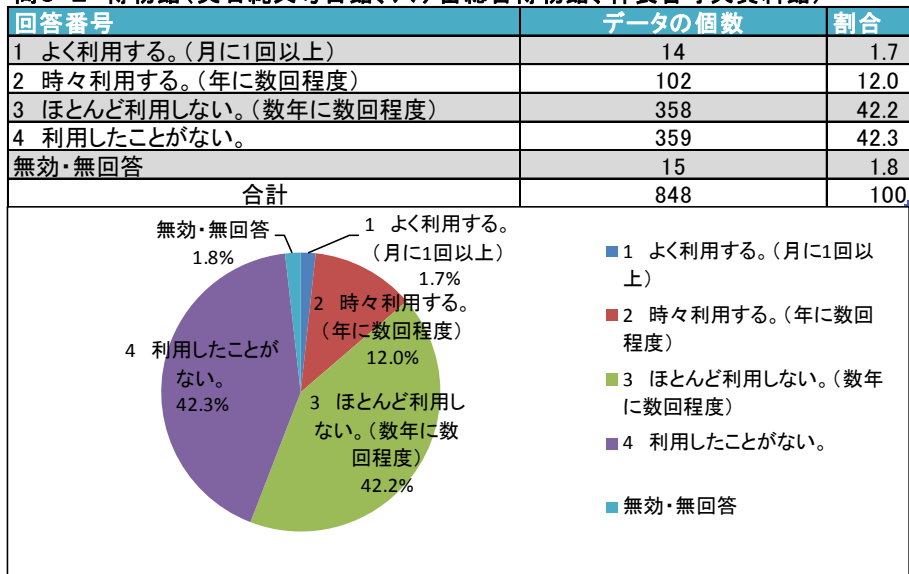
問5-1 図書館(図書館、市民館図書館)



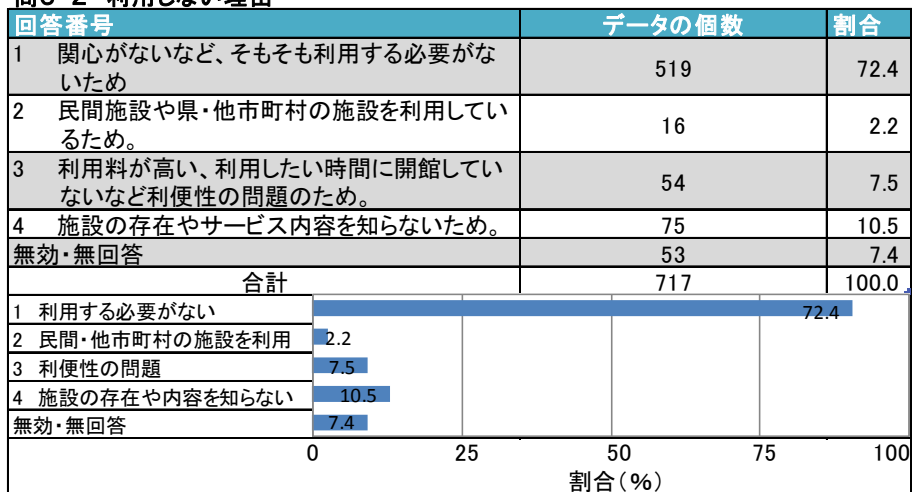
問5-1 利用しない理由



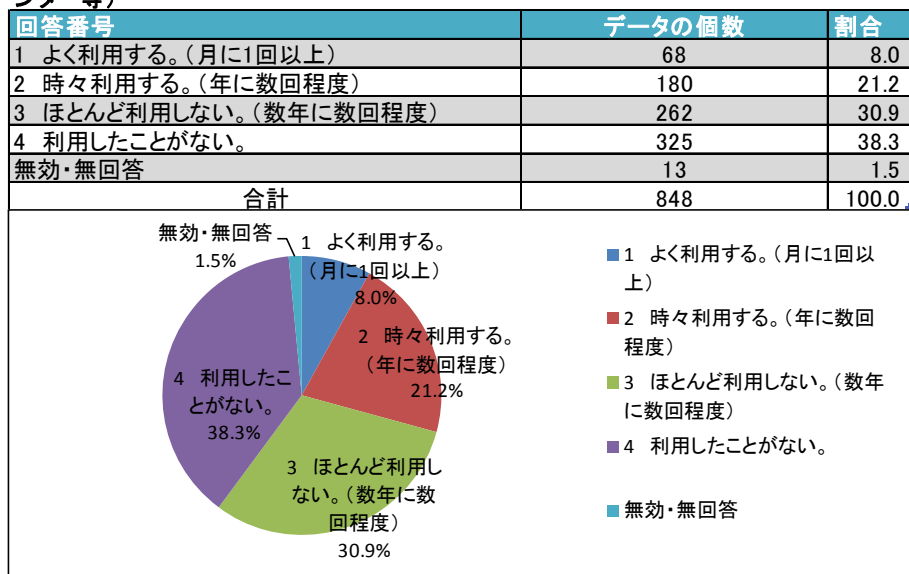
問5-2 博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)



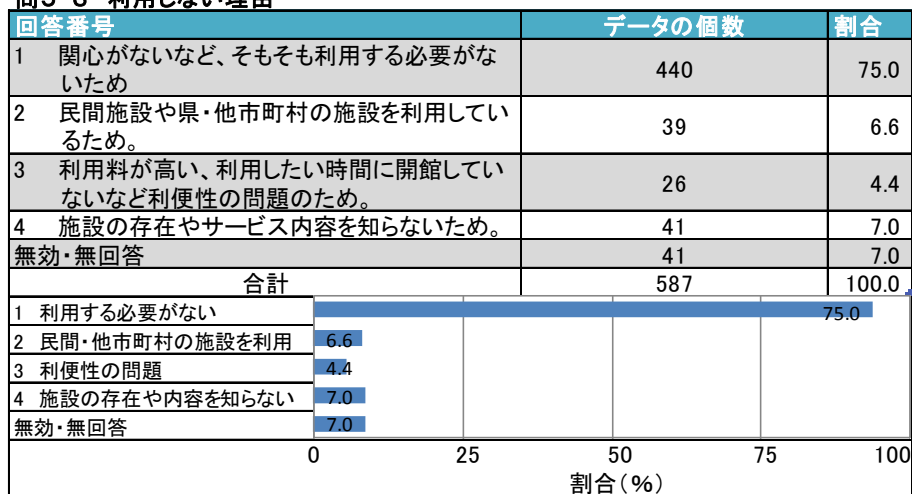
問5-2 利用しない理由



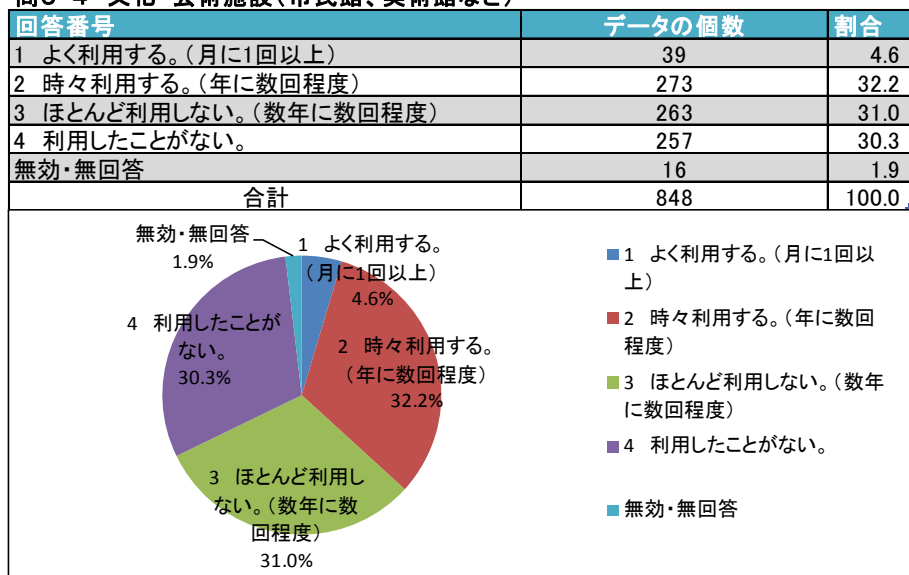
問5-3 スポーツ施設（総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンター等）



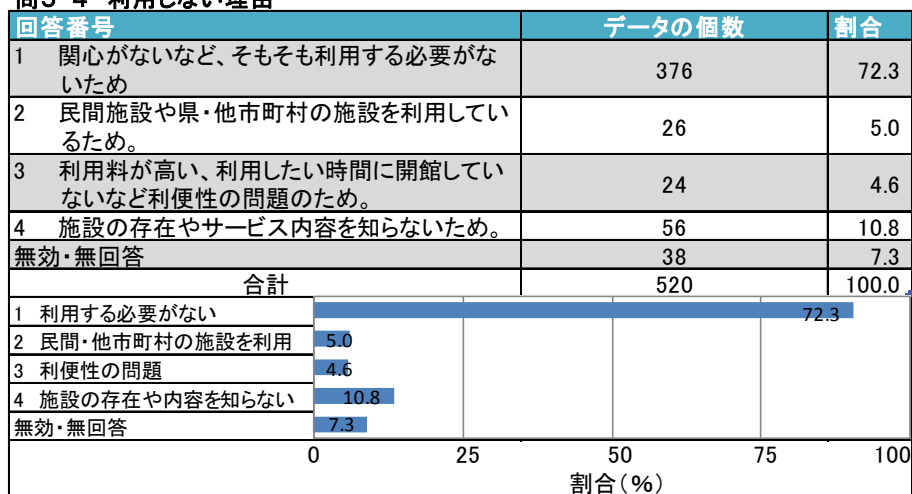
問5-3 利用しない理由



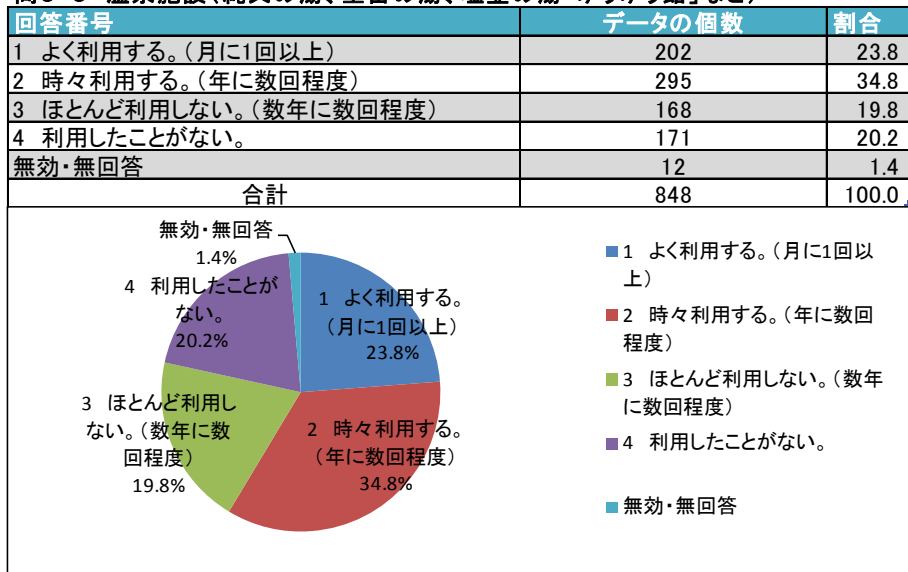
問5-4 文化・芸術施設（市民館、美術館など）



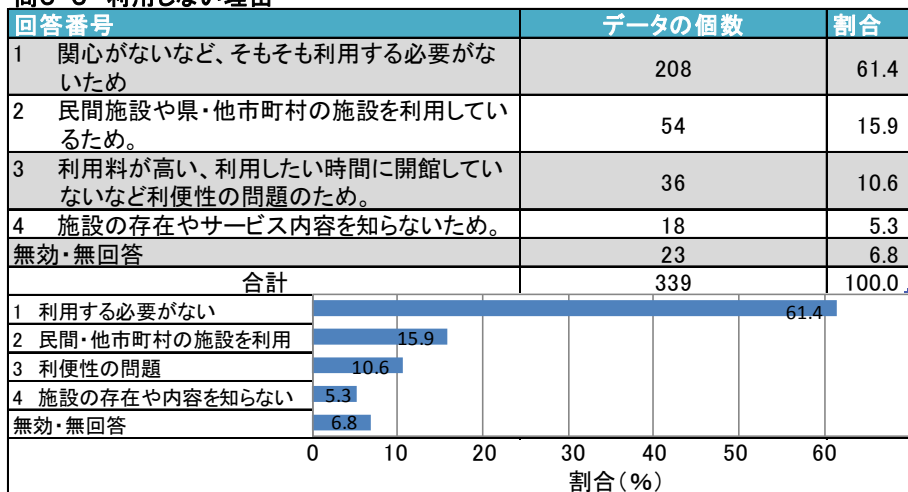
問5-4 利用しない理由



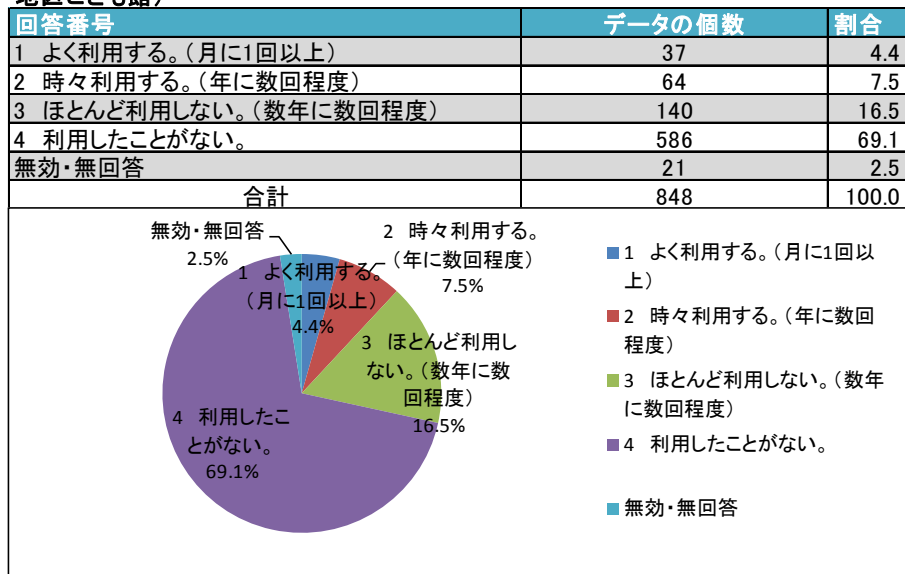
問5-5 温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)



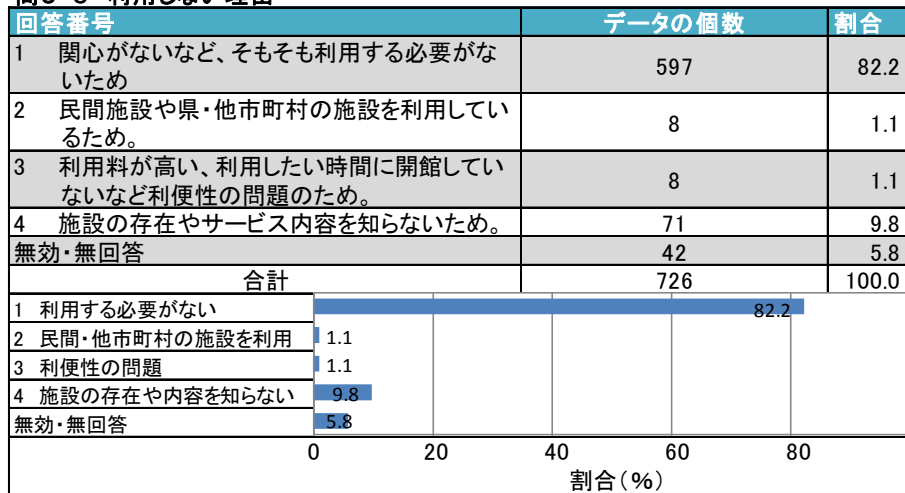
問5-5 利用しない理由



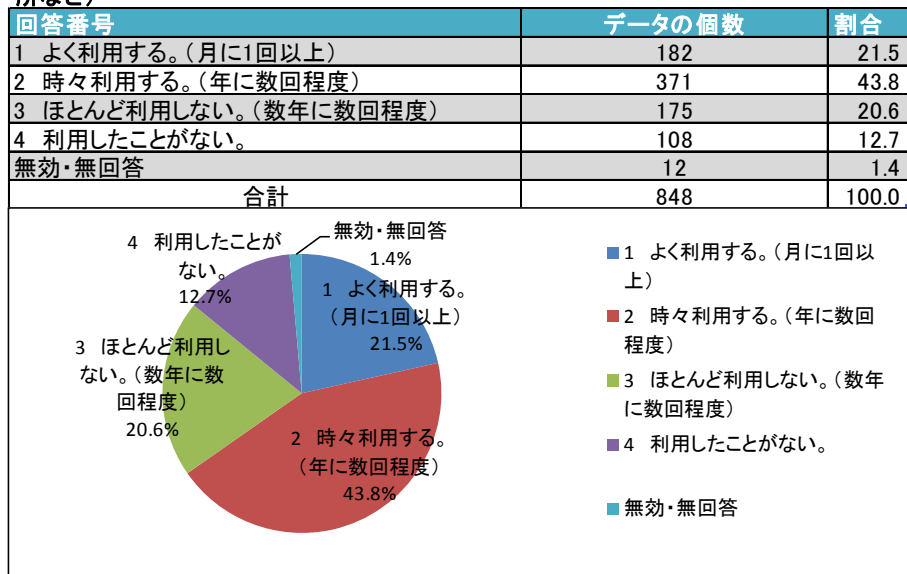
問5-6 子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)



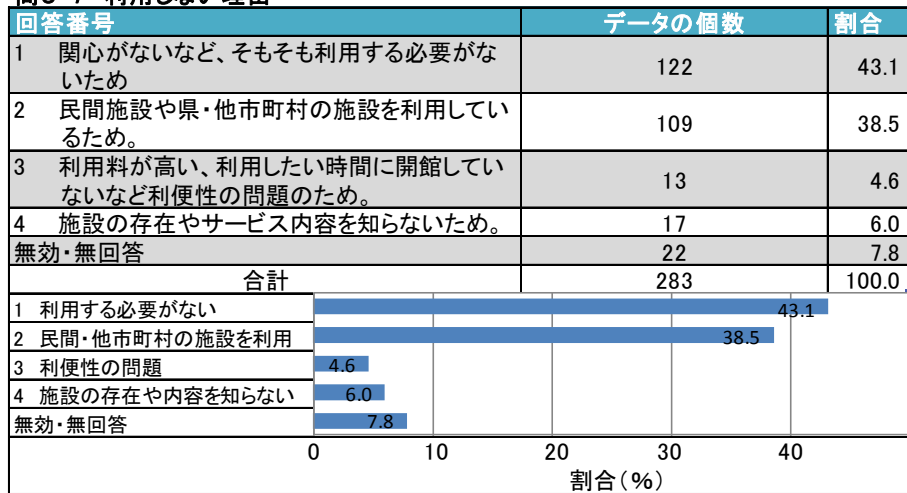
問5-6 利用しない理由



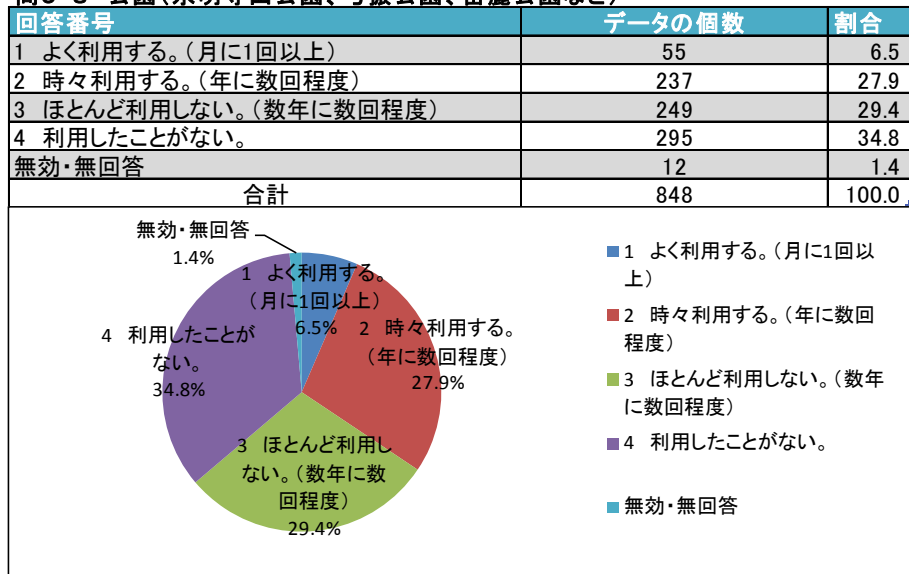
問5-7 医療施設（諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所など）



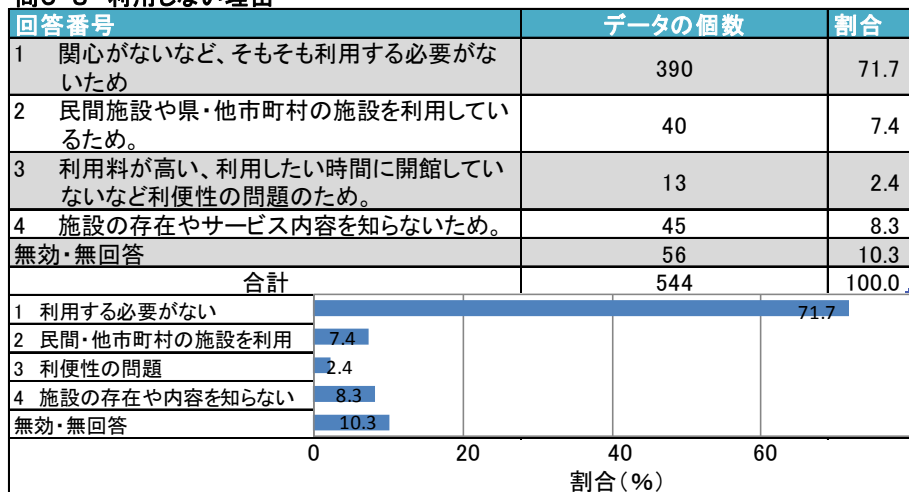
問5-7 利用しない理由



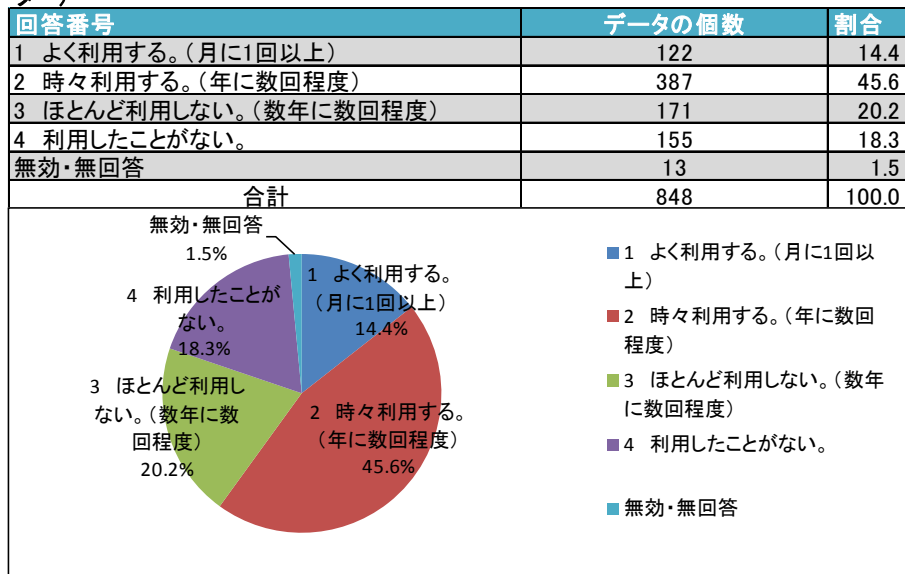
問5-8 公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)



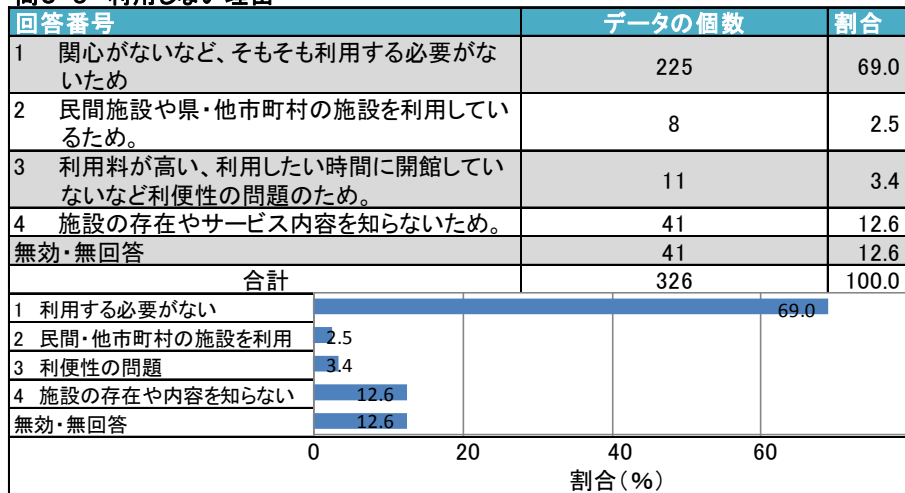
問5-8 利用しない理由



問5-9 行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンター)



問5-9 利用しない理由



問5 各施設比較一覧表（赤色の棒グラフは各分類で最も割合が多かったもの）

利用状況・利用しない理由		利用状況(割合)						利用しない理由(割合)					
施設の分類 ※主に広く市民が利用できる施設を対象としています。 小中学校や保育所、消防署などは除いています。		(よく月に1回以上)	(時々数回程度)	(ほとんど数回程度)	(利用したことがない)	無効・無回答		利用する必要があるなど、そのためにも利用したい	民間利用問題のため、利用したい	施設の存在やサービスの内容	無効・無回答		
1	図書館(図書館、市民館図書館)	13.3	22.4	29.7	33.0	1.5	左側で「3」の理由を右側から選んでください。 「4」(代表的な理由を1つ選択)と回答された施設について	75.9	5.3	4.1	7.5	7.1	
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)	1.7	12.0	42.2	42.3	1.8		72.4	2.2	7.5	10.5	7.4	
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	8.0	21.2	30.9	38.3	1.5		75.0	6.6	4.4	7.0	7.0	
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)	4.6	32.2	31.0	30.3	1.9		72.3	5.0	4.6	10.8	7.3	
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	23.8	34.8	19.8	20.2	1.4		61.4	15.9	10.6	5.3	6.8	
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	4.4	7.5	16.5	69.1	2.5		82.2	1.1	1.1	9.8	5.8	
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	21.5	43.8	20.6	12.7	1.4		43.1	38.5	4.6	6.0	7.8	
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	6.5	27.9	29.4	34.8	1.4		71.7	7.4	2.4	8.3	10.3	
9	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	14.4	45.6	20.2	18.3	1.5		69.0	2.5	3.4	12.6	12.6	

問5 結果のまとめ

- ・図書館、博物館、スポーツ施設、子育て支援施設、公園は、「利用したことがない。」の割合が最も多く、施設全体で集計した場合についても、利用していない市民の割合が多い。
- ・利用しない理由は、いずれの施設も「関心がないなど、そもそも利用する必要がないため。」が最も多い。
- ・文化・芸術施設は、「時々利用する。」の割合が最も多いが、「ほとんど利用しない。」や「利用したことがない。」も3割の人が選択していて、ほとんど差がない。また、「よく利用する。」の割合は、博物館に次いで少なくなっている。
- ・温泉施設は、「時々利用する。」が最も多くなっており、「よく利用する。」と合わせると6割近くの人が、一定の利用をしている。利用しない理由については、わずかではあるが、他の施設に比べて「民間施設や県・他市町村の施設を利用しているため。」や「利用料が高い、利用したい時間に開館していないなど利便性の問題のため。」が大きくなっている。
- ・医療施設は、「時々利用する。」が最も大きくなっていて、「よく利用する。」と合わせると、6割以上の人が利用をしている。利用しない理由については、他の項目に比べて「民間施設や県・他市町村の施設を利用しているため。」が非常に多くなっている。
- ・行政施設は、「時々利用する。」が最も多くなっていて、その割合は全施設中最も多い。「よく利用する。」と合わせると、6割以上の人が利用をしている。

3. 今後の公共施設等のあり方に関する調査

問6 今後、公共施設の修繕や更新(建替え)に必要な財源が不足してくることが見込まれます。このような見通しを踏まえて、公共施設の今後の在り方について、次の方法が考えられます。あなたは、どのように考えますか。(良いと思う方法を1つだけ選んで○をつけてください)

回答番号	データの個数	割合
1 公共施設による行政サービスは、他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加を伴っても維持すべきである。	49	5.8
2 公共施設は、統合・複合化・廃止をして縮小していかざるを得ないが、他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加により、できるだけ縮小の規模は小さく抑え、維持すべきである。	263	31.0
3 他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加はできるだけ少なく済むよう、公共施設は、統合・複合化・廃止をして縮小を進めるべきである。	281	33.1
4 公共施設は、市民生活に欠くことのできないものを残して、それ以外は廃止すべきである。	143	16.9
無効・無回答	112	13.2
合計	848	100.0

1 他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加を伴っても維持	5.8
2 縮小するが、他の市民サービスの縮小や利用者負担増加で縮小規模を小さく	31.0
3 他の市民サービスの縮小や利用者負担増加は少なく済むよう縮小を進める	33.1
4 市民生活に欠くことのできない施設以外は廃止	16.9
無効・無回答	13.2
割合(%)	0 5 10 15 20 25 30

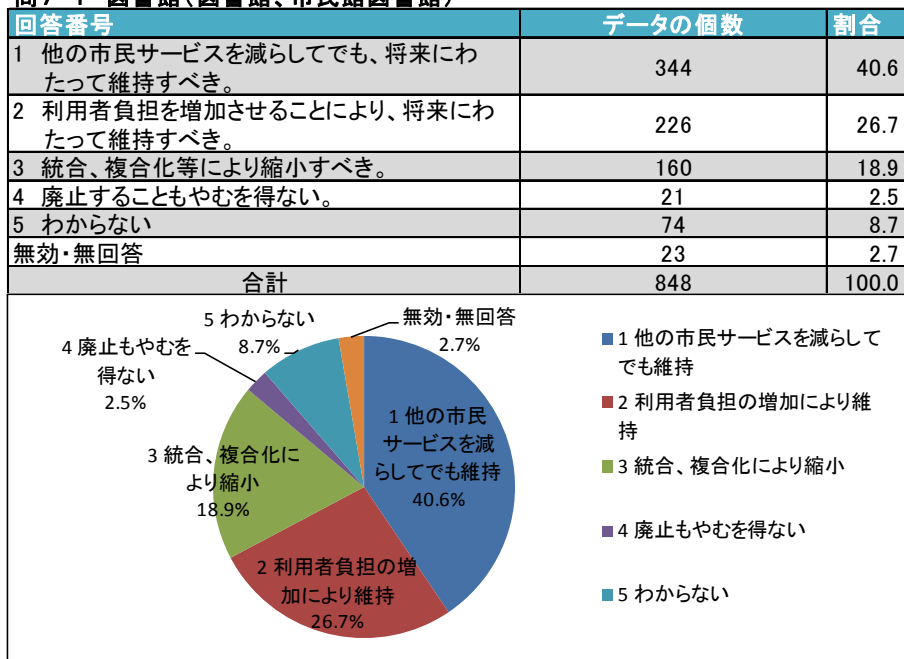
問6 結果のまとめ

- ・公共施設全体としては、縮小はやむを得ないと考える回答が多くを占めている。
- ・縮小をやむを得ないものと理解しながら、できるだけ維持してほしいと考える市民と、他の公共サービスの縮小や利用者負担の増加を少なくするよう縮小を考える市民はほぼ均衡しているが、わずかに後者の方が多い。
- ・一方で、市民生活に欠くことのできない施設以外は廃止すべきと考える市民も一定数いる。
- ・他の市民サービスの縮小や、利用者負担の増加を伴っても公共施設を維持することを望む市民は少数である。

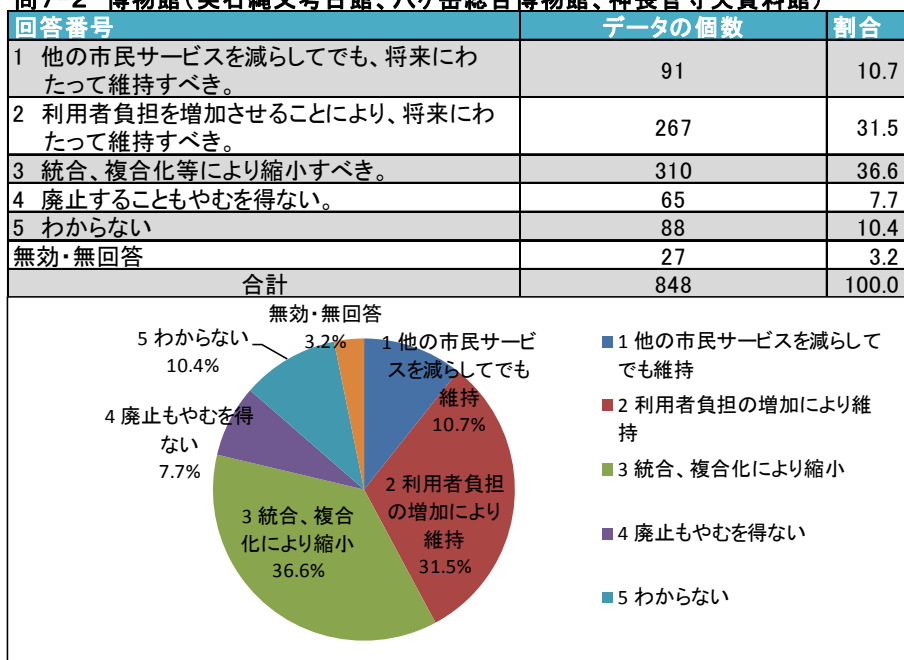
4. 今後の施設分類ごとの公共施設のあり方に関する調査

問7 今後、公共施設の整備や管理運営に必要な財源不足することが見込まれる中で、市が設置している公共施設の分類ごとの在り方のお考えをお答えください。（施設の分類ごとに、それぞれ○を1つ付けてください）

問7-1 図書館（図書館、市民館図書館）

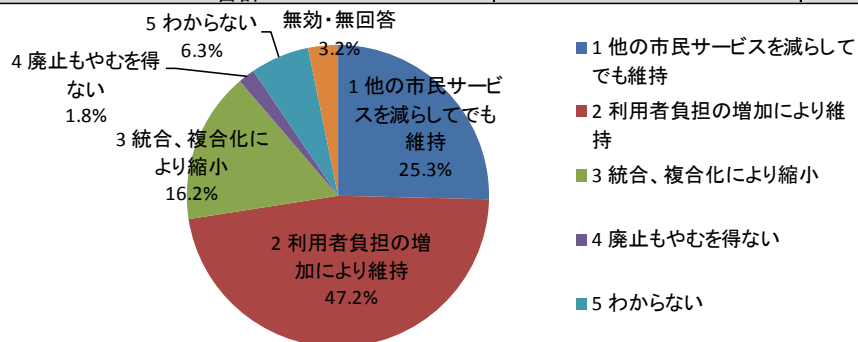


問7-2 博物館（尖石縄文考古館、八ヶ岳総合博物館、神長官守矢資料館）



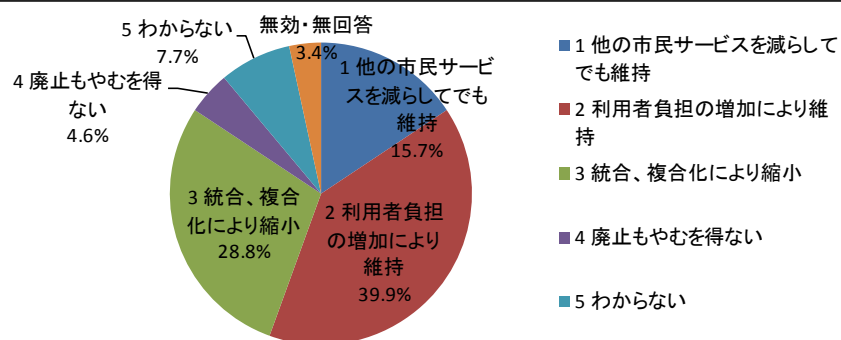
問7-3 スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)

回答番号	データの個数	割合
1 他の市民サービスを減らしてでも、将来にわたって維持すべき。	215	25.4
2 利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。	401	47.3
3 統合、複合化等により縮小すべき。	137	16.2
4 廃止することもやむを得ない。	15	1.8
5 わからない	53	6.3
無効・無回答	27	3.2
合計	848	100.0

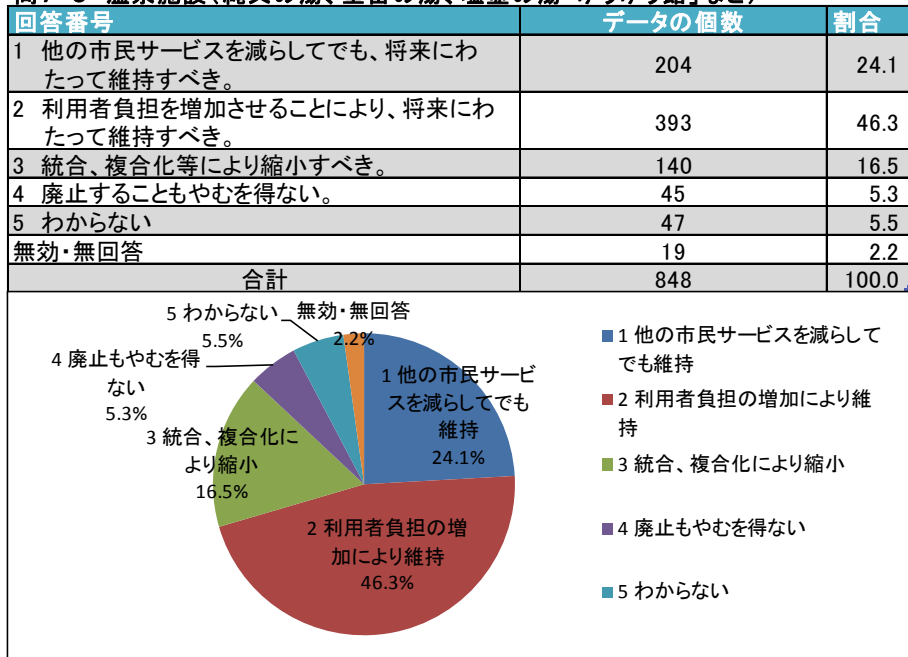


問7-4 文化・芸術施設(市民館・美術館など)

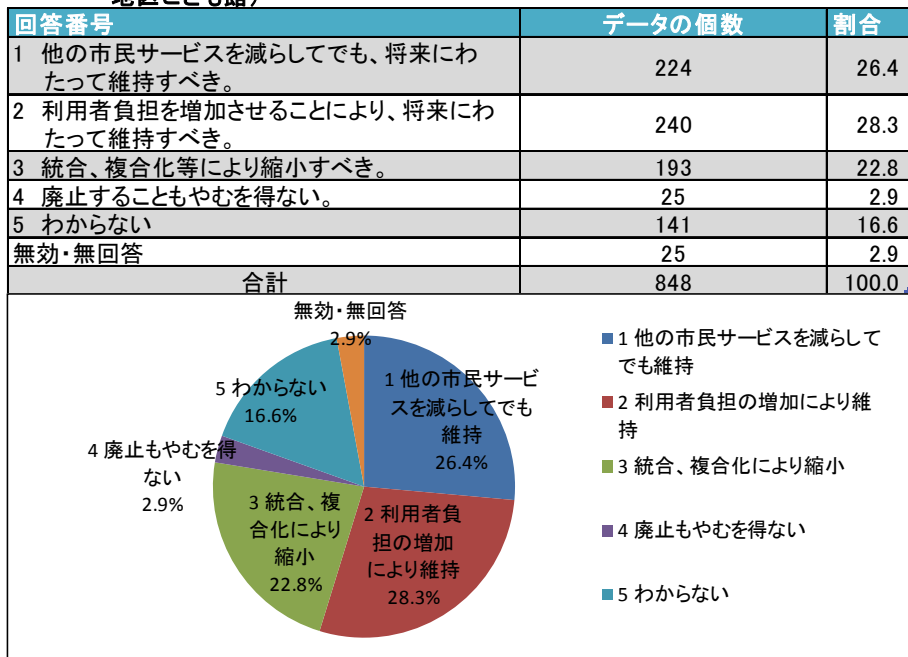
回答番号	データの個数	割合
1 他の市民サービスを減らしてでも、将来にわたって維持すべき。	133	15.7
2 利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。	338	39.9
3 統合、複合化等により縮小すべき。	244	28.8
4 廃止することもやむを得ない。	39	4.6
5 わからない	65	7.7
無効・無回答	29	3.4
合計	848	100.0



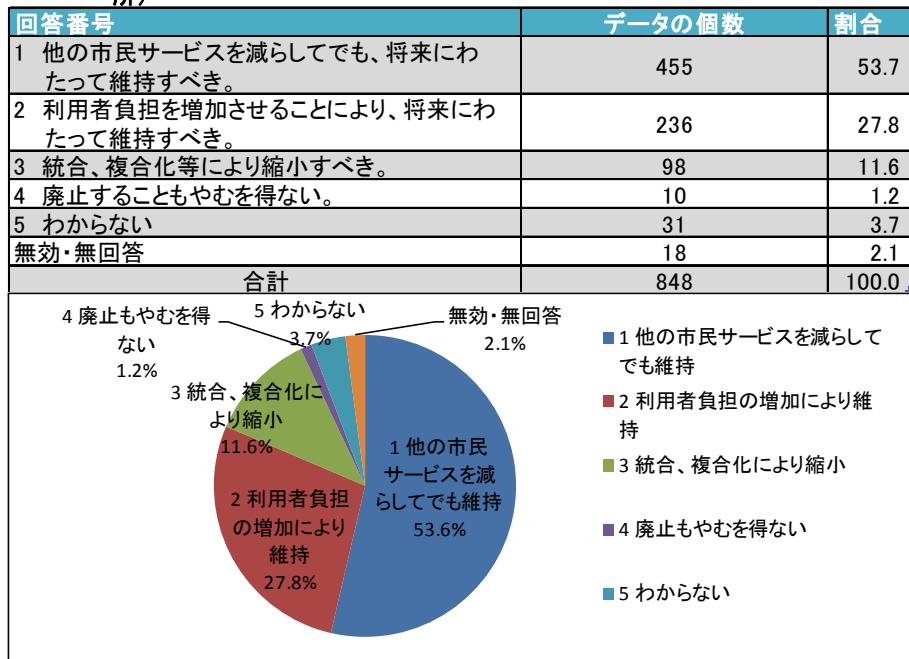
問7-5 温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)



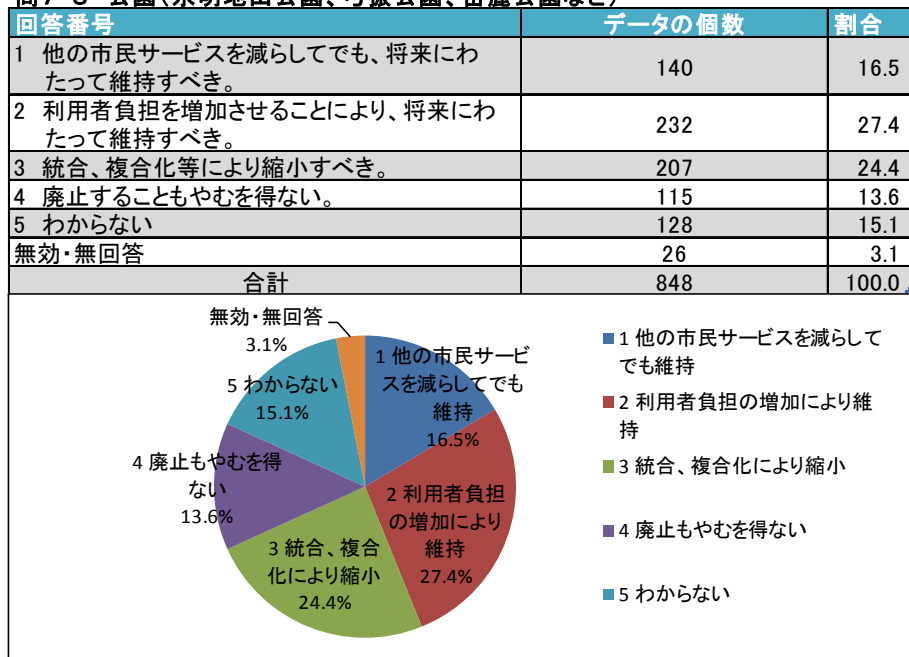
問7-6 子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)



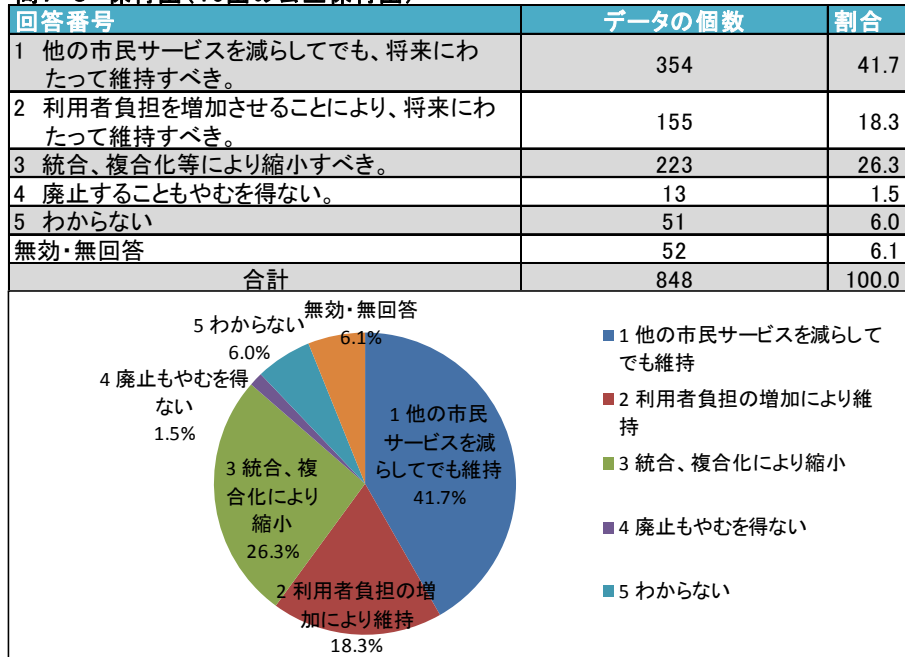
問7-7 医療施設（諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所）



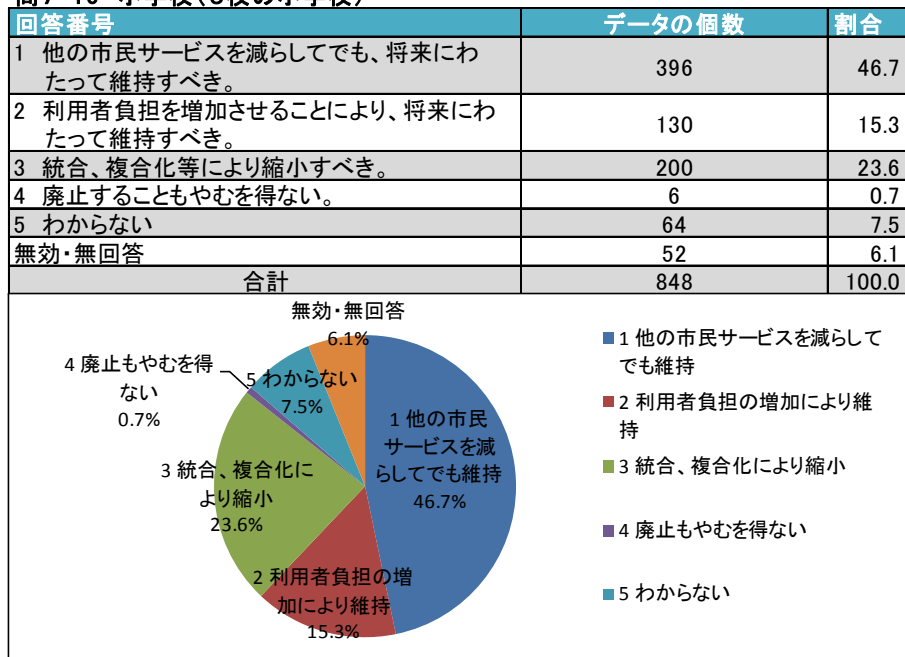
問7-8 公園（永明地山公園、弓振公園、岳麓公園など）



問7-9 保育園(15園の公立保育園)

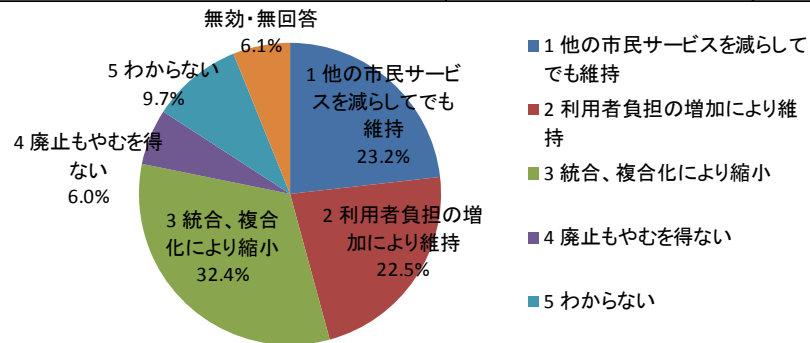


問7-10 小学校(9校の小学校)



問7-11 行政施設(各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)

回答番号	データの個数	割合
1 他の市民サービスを減らしてでも、将来にわたって維持すべき。	197	23.2
2 利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。	191	22.5
3 統合、複合化等により縮小すべき。	275	32.4
4 廃止することやむを得ない。	51	6.0
5 わからない	82	9.7
無効・無回答	52	6.1
合計	848	100.0



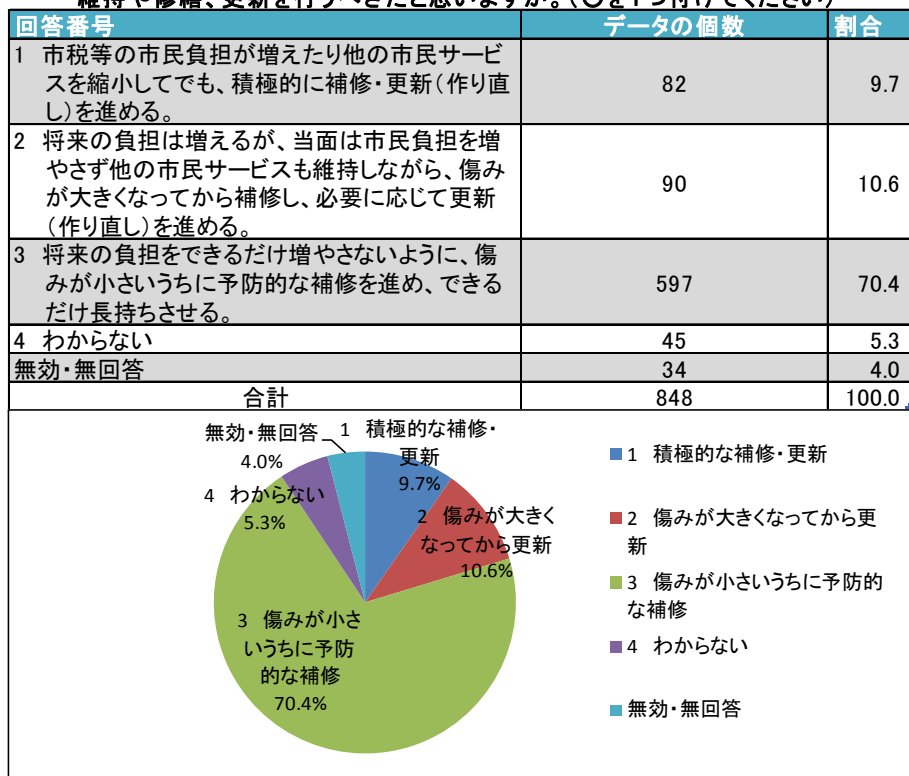
問7 一覧表（赤色の棒グラフは各分類で最も割合が多かったもの）

施設分類		他サービスの維持・削減に おける影響	利用者負担の増 減	複合化による 縮小	廃止すること による影響	わからない	無効・無回答
1	図書館(図書館、市民館図書館)	40.6	26.7	18.9	2.5	8.7	2.7
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)	10.7	31.5	36.6	7.7	10.4	3.2
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	25.4	47.3	16.2	1.8	6.3	3.2
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)	15.7	39.9	28.8	4.6	7.7	3.4
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	24.1	46.3	16.5	5.3	5.5	2.2
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	26.4	28.3	22.8	2.9	16.6	2.9
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	53.7	27.8	11.6	1.2	3.7	2.1
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	16.5	27.4	24.4	13.6	15.1	3.1
9	保育園(15園の公立保育園)	41.7	18.3	26.3	1.5	6.0	6.1
10	小学校(9校の小学校)	46.7	15.3	23.6	0.7	7.5	6.1
11	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	23.2	22.5	32.4	6.0	9.7	6.1

問7 結果のまとめ

- ・問5では、多くの施設について、利用しない市民が多いこと、問6では、総論として公共施設の縮小に肯定的な市民が多い結果であったが、各施設分類での回答では、維持を希望する回答が多数を占めている。
- ・問6で「公共施設による行政サービスは、他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加を伴っても維持すべきである。」は、わずか5.8%であったが、施設分類ごとの回答では、「他のサービスを減らしてでも将来にわたって維持すべき。」が、図書館、医療施設、保育園、小学校で最も多い割合となっている。（注：保育園、小学校は、問5の選択肢の対象外。）
- ・「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」が最も大きな割合を占めている施設は、スポーツ施設、文化・芸術施設、温泉施設、子育て支援施設、公園の5つである。
- ・全ての施設において、統合・複合化による縮小を行うべきと考える市民が一定数いる。その割合は、医療施設、スポーツ施設、温泉施設、図書館では少ないが、その他の施設では2～3割超である。
- ・「統合、複合化により縮小すべき。」が最も大きな割合を占めている施設は、博物館と行政施設の2つである。

問8 今ある道路や橋などのインフラ施設も老朽化が進んでいきますが、どのように維持や修繕、更新を行うべきだと思いますか。(〇を1つ付けてください)



問8 結果のまとめ

- ・ 大多数が「将来の負担をできるだけ増やさないように、傷みが小さいうちに予防的な補修を進め、できるだけ長持ちさせる。」を選択している。傷みが大きくなってからの補修・更新や市民の負担増・他の市民サービスの縮小を選択する市民は少ない。

問9 公共施設や、インフラ整備（道路、橋、上下水道など）の今後の在り方について、率直なご意見をお聞かせください。

分類	主な回答内容
公共施設	今後増やさない。JAや郵便局と共有するなど不動産を減らす。
	無駄な新しい施設ではなく、現在の施設の活用を考えるとともに、補修は早めに進めてほしい。
	これ以上増やさない。現状の保全、修理に重点を置く。利用者が特定少数の施設等ではできる限り複合化を検討。
	収入に対して無理な設備投資はしない。
	今あるすべての施設が必要かは不明だが、統合縮小はある程度仕方がない。
	すべての公共施設を今まで通り維持していくのはお金もかかるし無理だと思うので利用者の多い施設など、これからも必要な施設のみ残す形でもよい。
	傷みが小さいときに補修して、更新するときは、統合化・複合化して施設の数进行縮小する。
	積極的な統合複合化での集約は大切。利用者の意見を聞くことも大事だが、利用者の意見だけでは集約などは難しいので、総合的な行政の指導が必要。
	空いているところ（ベルビアなど）を利用された方が賢明に思う。施設は一つのところにまとめ市民が気軽に集えるように工夫されたほうがよい。
	交通機関を活用すれば統廃合を進めても大きな問題が生じるとは思えない。
	利用者の少ないものは縮小、廃止もやむを得ない。今以上に市税を増やすのは大変負担である。
	廃止できるものは思い切って廃止。民間では存続のために統合複合化廃止は当たり前のこと。人件費の削減にもつながる。
	水準向上にはお金が必要になるので立派な建物は必要ない。お金がなくても住める茅野市がよい。
	利用状況により、縮小、統廃合をして、市民負担が増えないよう適正な量を維持してほしい。
	公共施設のために市民負担をお願いするならば職員の減や減給など傷みを伴わなければ市民は納得しない。
	統廃合を積極的に進めていかないと10年後には負担が増えて若い人の生活に影響が出る。
	利用率の低い公共施設は積極的に統合、縮小すべき。ただし少子化を考慮すると子育てに関わる施設の縮小は最小限にとどめたい。
	温泉施設等ごく一部の利用者のために数が多すぎる。子供たちのための施設を充実してほしい。
個別施設	建物を維持管理する費用を教育内容の充実に使った方が子供のためになる。
	必要ない公共施設はない。予算がない中で補修しながら長期的に作り直しなどしていくために、市民負担増、市民サービスの縮小、税収増も必要。
	公共施設の使いやすさや豊富さが茅野市のよいところ。できるだけ残してもらいたい。そのための利用料金値上げはやむを得ない。
	保育園、小学校、コミュニティは各地区にあってほしい。
	各地区コミュニティセンターはこれからは大事になってくる。
	図書館博物館は民営委託。ただし、文化施設は自治体の文化レベルを示すものなので短絡的な統廃合は問題。
	面積の広い茅野市の維持費は大変だが、整備、管理、運営していただきたい。コミュニティはいらない。配置するにしても職員は一人で十分。
	小さな保育園は統合したほうがよい。
	社会教育施設、文化芸術施設、コミュニティ施設などは、利用者が少なければ縮小、廃止を検討。
	公民館、コミュニティセンターの数がとても多いので、統廃合を進めてもよい。
	ゆうゆう館は不要。塩壺の湯に統合すべき。
	各地区に温泉は多すぎる。
	スポーツ施設及び公園などはもう十分ではないか。これ以上は必要ない。
	保健福祉サービスセンターは各地区にはいらない。市役所内で行える。
	公共施設の維持管理が困難な状況下において市民活動センターの建設はいかがなものか。ベルビアの空きスペースの有効活用で十分に足りる。次世代に禍根を残さないために建設中止を求める。
	財政状況が厳しく公共施設の在り方を検討しなくてはならない現状でありながら、数億円もかけて市民活動センターを作るのはとんでもないこと。国立競技場ではないが、ゼロベースで考え直したほうがよい。

分類	主な回答内容
インフラ	人命にかかわるので傷みの小さいうちに補修する。
	毎日の市民生活に大変重要なものは積極的に整備し生活に支障のないよう進めてもらいたい。
	負担があったとしても補修更新に賛成。道路、橋、上下水道を使わず市民生活を送れる人はいないのでみんなが負担すべき。
	災害などに備えるためにも普段からの整備等が必要だと思う。傷みがあるところが多い。
	道路、橋の積極的な補修、更新は大事である。茨城県の堤防決壊があったことを踏まえて、水害、防災面にも力を入れていただきたい。
	大災害に備えての税金が使われることに反対する理由はない。緊急車両が支障なく迅速に通行できるようライフラインの確保をお願いしたい。
	生活の基礎となる施設であるため、大きな修理になる前に手当てし、長期の使用に耐えるようにお願いしたい。
	インフラ施設の準備は行政の大事な仕事。そのために市民がある程度負担するのはやむを得ない。
	利用頻度の高いところは更新、それ以外は予防的な補修で長持ちさせる。
	補修更新をしていかないと事故につながるので他の予算を減らしてでも予算をつけていただきたい。
	地区ごとに人が偏らないよう整備を実施して、茅野市のどこに住んでも住みやすい環境を作ってもらいたい。
	インフラについては災害時等を視野に入れながら、各施設ごとに重要度を整理して補修の優先順位を決めることが大切。
	社会、経済を考えるうえでインフラ施設は不可欠なものであるが、更新費用やランニングコストと必要性との兼ね合いを考えて維持管理を続けるか統合廃止を進めるか考えていかなければならない。
	インフラは大切、充実は必要。ただ、山の中をどこまでも車で行けたり、不自然な立派さはいらない。
	修繕をメインとし、新設はしない。
	新設はしないで今あるものを長持ちさせることを考えていく。
	今後はコンパクトシティ化を進める中で整備するエリアを限定し、人が住む範囲もまとめるべき。
	傷みが多くみられる。交通の安全から早めに補修が必要。
道路	しっかり整備しないと災害時など、避難場所にもいかれない。
	車が足である地域なので、維持は税金を増やしてでも優先すべき。
	観光市なのでしっかりすべき。
	掘り起こす工事が頻繁に行われ補修の跡だらけ。一冬過ぎると穴が開き、でこぼこだらけ。計画的に工事ができないものか。
	同じところを掘ったり埋めたりしている。同時に工事できないのか。
	道路の状態が悪すぎる。車社会なのででこぼこ道はすぐに直してほしい。
	舗装工事後、道がぼこぼこであるが、もう少しきれいにできないか。
	主要道路の舗装はよいが、交通量の少ない道路や農道の舗装はなくてよい。
	特に道路の老朽化が進んでいて自動車や二輪車で危険を感じる。補修を進めてほしい。
	冬季の除雪だけでなく排雪もしてほしい。
	雪やエンカルで傷みが激しい。その都度補修を。
	通学路など歩道がないところもあり、危険な個所も多い。
	子どもが安心して通れる歩道を。
	新しい道路ばかり作って広げているが、老朽化しているところに充ててほしい。
	使用しない道は増やさず、主要道路の補修、整備をしてほしい。交通渋滞を解消していただきたい。
上下水道	確実に手をかけ安全安心をお願いしたい。 配管が昔のままのところがあったら水漏れが出る前に新しい配管にかえてほしい。
橋梁	粟沢橋の老朽化が進んでいるが、交通量は多く心配。災害が起きないうちに修繕が必要。 交通の便が悪い橋、通勤時に込み合うので拡張を早急に進めてほしい。

分類	主な回答内容
その他	自治体も企業と同じ。様々な工夫負担を背負って公共施設やインフラの改革を進めていくべき。市民の負担を増やすのは違う。
	市職員の数の見直し、仕事の効率化を図り、財源を確保する。民間では考えられないほど職員の危機感がない。
	増やすのは容易だけど縮小していくのは難しい。将来の子どもたちに負担が大きくなるのは問題。今のうちから優先順位を決めて早急に対策をしてほしい。
	これからは20万都市にするべき。負担を減らすため市町村合併を。
	維持していくことは大変だが、どのようにしたら維持できるか、市民に何を協力してもらえるか考えることも大切。
	茅野市は扇形で地区も分断されており、特有の難しさもあるかと思う。市民としても状況を理解し、できるだけ少ない負担でできるだけ良い質を保てるよう協力していきたい。
	民間に管理させることによりサービスがよくなれば利用者も増える施設がある。
	事故が起きてからでは遅い。市税はその分を少しずつためておくことも必要。〇〇を作るための寄付を募ることもよいのではないかな。
	利用率を考え、有効に使われているかどうか。料金も不平等がないか。利用者の公共意識を高めてほしい。少なくともお金はとるべき。税金の投入金額ははっきりさせるべき。
	年代のことも考え、人数の多さだけで決めないでほしい。各年代交流も上手に取り入れて新しい活用方法を。
	文化的、教育的に価値のある施設等もあるが、家族の収入が増えない中市民負担の増は厳しい。市民の利用頻度を考えて、施設の整備を進めるべき。国宝を守っても市民の生活が潤うわけではない。
	公共事業を行う時は借金をして行うのではなく増税して行うべき。そうすれば不必要な事業は市民の賛同を得られなくなる。

問9 結果のまとめ

自由記入欄は、全848人の回答者中500人から意見があった。

公共施設

- ・公共施設に関しては、100件以上の意見があり、特に多かった内容は、利用者の少ない施設は統合・複合化等により縮小していくべき旨の意見であり、維持にかかる市民負担の増加には否定的な意見が多い。利用者の少ない施設は廃止をすべきとの意見もある。ただし、子育て関連施設の縮小は可能な限り小さくしてほしいといった意見が多い。また、公共施設の新設については否定的な意見が多数を占めている。
- ・個別の公共施設に対する意見は、全体としては少ないが、維持することに否定的な意見が目立つ。

インフラ施設

- ・インフラ施設（道路、橋、上下水道等）に関するものは200件以上の意見があり、全体で最も多くの割合を占めている。多くが、インフラ施設は生活に直結する重要な施設なので、維持・更新を行ってほしい趣旨であり、インフラ施設維持のために、市民の負担が伴うことは、やむ得ないという意見も多い。
- ・特に多かった意見は道路に関するもので、100件以上である。主に、道路の凸凹に対する不満と要望であり、歩道の整備に関する要望もある。一方で、交通量の少ないところは舗装をやめてもよいという意見もある。
- ・橋に関する意見は少ないが、意見のほとんどは栗沢橋の老朽化や渋滞への対策を求めるものである。

自由記入欄の全体的な傾向

- ・「インフラ施設は維持、公共施設は縮小」の傾向である。

Ⅲ クロス集計の結果と分析

1. 男女別集計

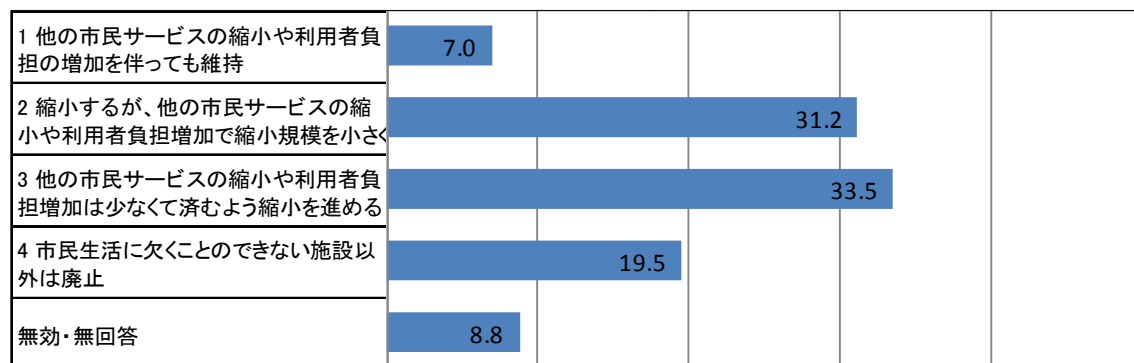
問5 最も割合が多かった項目

利用状況・利用しない理由		利用状況						利用しない理由					
施設の分類 ※主に広く市民が利用できる施設を対象 としています。 小中学校や保育所、消防署などは除いて います。		(よく 利用 する。 月に 1回 以上)	(時々 利用 する。 年に 数回 程度)	(ほと んど 利用 しな い。 数年 に数 回程 度)	利用 した こと がな い。	無効 ・無 回答		関 心 が な い な ど、 そも そも も利 用 す る 必 要 が な い た め。	民 間 施 設 や 県・ 他市 町村 の施 設を 利用 して いる た め。	性 間 に 開 館 し て い な い な ど の利 便 時 間 の 問 題 の た め。	利 用 料 が 高 い、 利 用 し た い 時 間 に 開 館 し て い な い な ど の利 便 時 間 の 問 題 の た め。	施 設 の 存 在 や サ ー ビ ス の 内 容 を 知 ら な い た め。	無効 ・無 回答
1	図書館(図書館、市民館図書館)				男 女		左側で、「3(ほとんどの理由を右側から選んでください)または「4(代表的な理由を1つ選択)」と回答された施設につ	男 女					
2	博物館(尖石縄文考古館、八ヶ岳総合博物館、神長官守矢資料館)			男 女				男 女					
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)				男 女			男 女					
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)			男				男 女					
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)		男 女					男 女					
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)				男 女			男 女					
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)		男 女					男 女					
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)				男 女			男 女					
9	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)		男 女					男 女					

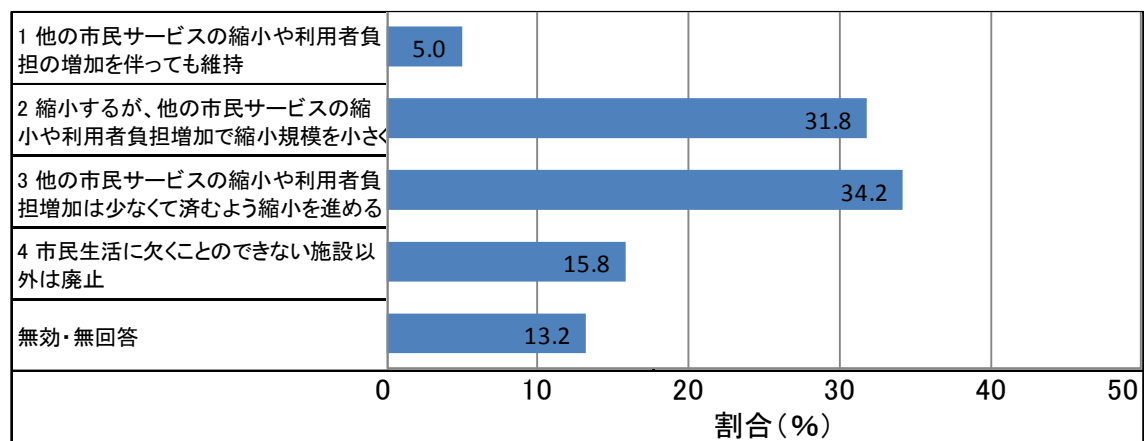
※黄色は全体集計で最も割合が多かった項目。

問 6

男性



女性



問7 最も割合が多かった項目

施設分類		べにら他の きわしサ 。たてで つても 維、ビ 持将を す来減	てりさ利 維、せる 持将来 す来に すにわ べき。た 。つ	り統 縮合、 小複 す合 べき化 。に よ	む廃 を止 得する ない。こ 。とも や	わ か ら な い。 。	無効・無回答
1	図書館(図書館、市民館図書館)	男 女					
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)		男	女			
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)		男 女				
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)		男 女				
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)		男 女				
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)		男 女				
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	男 女					
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)			男 女			
9	保育園(15園の公立保育園)	男 女					
10	小学校(9校の小学校)	男 女					
11	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)			男 女			

※黄色は全体集計で最も割合が多かった項目。

男女別集計 結果のまとめ

問 5

- ・文化・芸術施設では利用状況に差があり、女性の施設利用者が多い。

問 6

- ・男女ともほぼ同じ傾向である。

問 7

- ・博物館では回答結果に差があり、女性は統合・複合化に肯定的である。

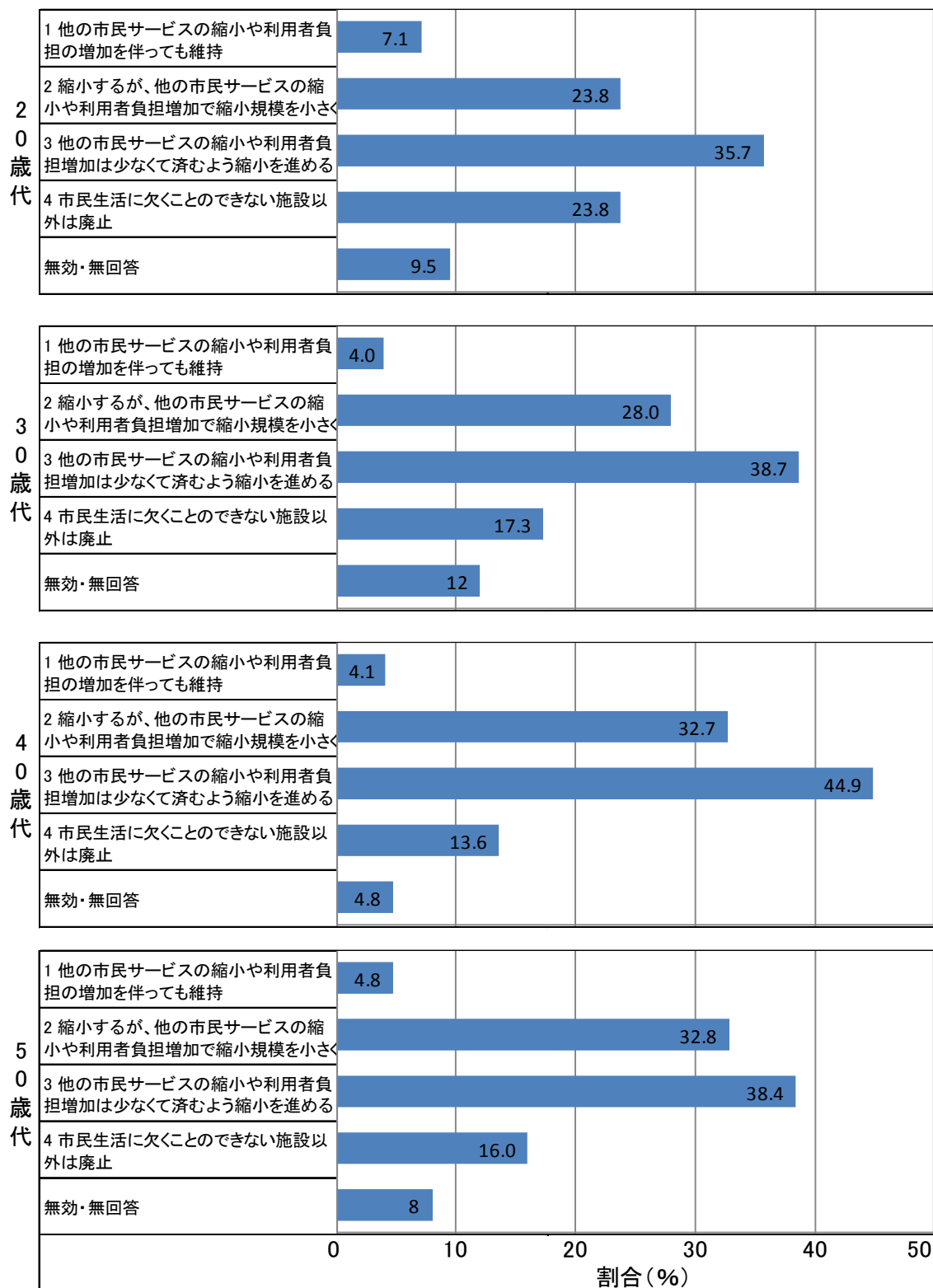
2. 年齢別集計

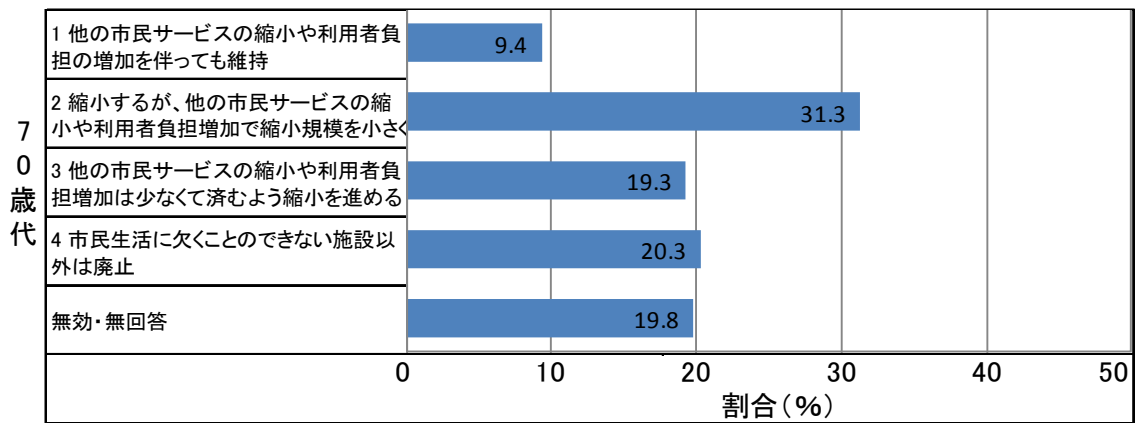
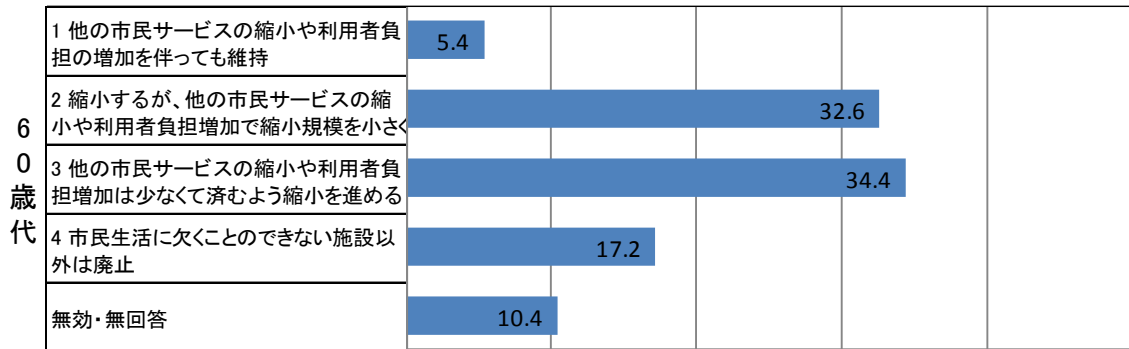
問5 最も割合が多かった項目

利用状況・利用しない理由		利用状況						利用しない理由					
施設の分類 ※主に広く市民が利用できる施設を対象としています。 小中学校や保育所、消防署などは除いています。		(よく月に1回以上)	(時々数回程度)	(ほとんど数回程度)	利用したことがない。	無効・無回答		利用する必要があるなど、ため。	民間施設や市町村の施設を利用している。	間に問題がない、利用したい。	利用料が高い、利用したい。	施設の存在やサービスの内容。	無効・無回答
1	図書館(図書館、市民館図書館)			20歳代 40歳代 50歳代	30歳代 60歳代 70歳代		左側で、「3」と「4」の理由を右側から選んでください。「4」は「代表したことがない」と回答された施設について	20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					
2	博物館(尖石縄文考古館、八ヶ岳総合博物館、神長官守矢資料館)			20歳代 50歳代 60歳代 70歳代	30歳代 40歳代			20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)		40歳代	20歳代 50歳代	30歳代 60歳代 70歳代			20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)		60歳代 70歳代	40歳代 50歳代	20歳代 30歳代			20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	70歳代	20歳代 40歳代 50歳代 60歳代		30歳代			20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)				20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代			20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	70歳代	20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代					20歳代 40歳代 50歳代	30歳代 60歳代 70歳代				
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)		30歳代	40歳代 50歳代	20歳代 60歳代 70歳代			20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					
9	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)		30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代		20歳代			20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					

※黄色は全体集計で最も割合が多かった項目。

問6





問7 最も割合が多かった項目

施設分類		べにら他 きわしの 。たてサ つてもー 維、ビス 持将を す来減	てりさ利 維、せる 持将るこ す来と すべに 。たよ つ増	り統 縮合、 小複 す合 べき化 。に よ	む廃 を止 得す ない 。こ も や	わ か ら な い 。	無 効 ・ 無 回 答
1	図書館(図書館、市民館図書館)	20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代	70歳代				
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)		70歳代	20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代			
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	20歳代	30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代				
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)		40歳代 50歳代 60歳代 70歳代	20歳代 30歳代			
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)		20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代				
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	20歳代 30歳代	40歳代 60歳代 70歳代	40歳代 50歳代			
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	20歳代 30歳代	40歳代 50歳代 60歳代 70歳代	50歳代			
9	保育園(15園の公立保育園)	20歳代 30歳代 50歳代 60歳代 70歳代		40歳代			
10	小学校(9校の小学校)	20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代					
11	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)			20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代			

※黄色は全体集計で最も割合が多かった項目。

※1施設で最大値が2項目ある年代あり。

年齢別集計 結果のまとめ

問 5

- ・図書館、博物館は全ての年代で、「利用したことがない」、「ほとんど利用しない」が多い。
- ・スポーツ施設は、40歳代で「時々利用する」が多く、他の年代では「利用したことがない」、「ほとんど利用しない」が多い。
- ・文化・芸術施設は、年齢が高いほど利用が多く、若い世代では利用が少ない。
- ・温泉施設、医療施設は、70歳代で「よく利用する」が多く、他の年代での利用も多い。
- ・子育て支援施設は、子育て年代（30歳代～40歳代）も含めたすべての年代で「利用したことがない」が最も多い。
- ・公園は、30～50歳代で利用したことのある人の割合が多く、他の年代では「利用したことがない」の割合が多い。
- ・行政施設については、20歳代を除き「時々利用する」が多い。

問 6

- ・20歳代では、「市民生活に欠くことのできない施設以外は廃止」の割合が他年代と比べて多い。
- ・30歳代～60歳代では、「市民サービスの縮小や利用者負担増加は少なくて済むよう縮小を進める」の割合が最も多いが、「縮小するが、市民サービスの縮小や利用者負担増加で縮小規模を小さく」の割合も多い。
- ・70歳代では、「縮小するが、市民サービスの縮小や利用者負担増加で縮小規模を小さく」の割合が最も多い。また、「市民サービスの縮小や利用者負担増加は少なくて済むよう縮小を進める」の割合が比較的少なく、「市民生活に欠くことのできない施設以外は廃止」の割合が多い。
- ・「市民サービスの縮小や利用者負担の増加を伴っても維持」の割合は、すべての年代で少ない。

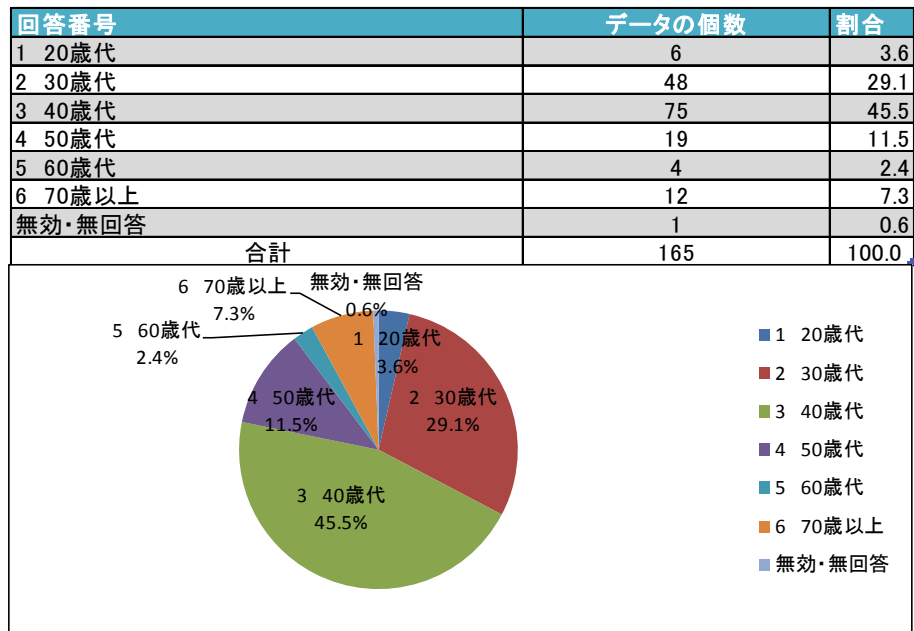
問 7

- ・図書館、医療施設、保育園、小学校は、すべての年代で「他のサービスを減らしてでも、将来にわたって維持すべき。」が多い。（図書館については、70歳代は「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」が多い。）
- ・博物館は、70歳代を除き、「統合、複合化により縮小すべき。」が多い。（70歳代は「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」が多い。）

- ・スポーツ施設は、20歳代を除き、「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」が多い。（20歳代は「他のサービスを減らしてでも、将来にわたって維持すべき。」が多い。）
- ・文化・芸術施設については、20、30歳代を除き、「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」が多い。（20、30歳代は「統合、複合化により縮小すべき。」が多い。）
- ・子育て支援施設、公園は、20、30歳代で「他のサービスを減らしてでも、将来にわたって維持すべき。」が多い。
- ・行政施設は、すべての年代で「統合、複合化により縮小すべき。」が多い。

3. 子育て世帯集計

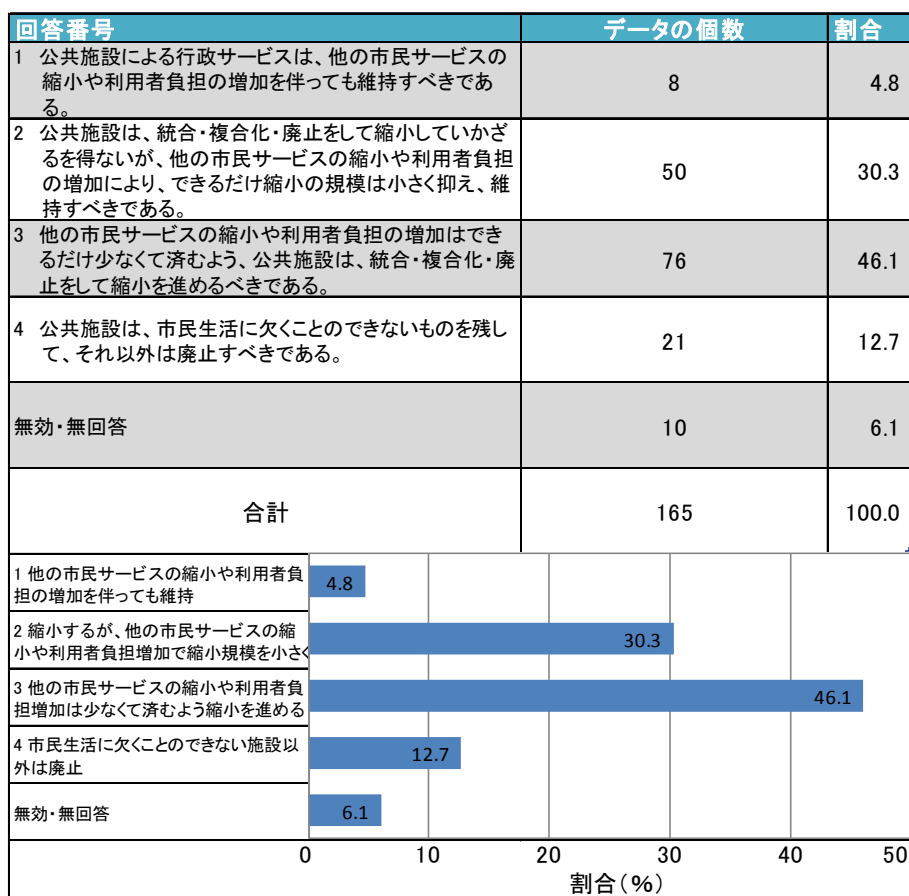
問2 年齢



問5

利用状況・利用しない理由		利用状況(割合)						利用しない理由(割合)					
施設の分類 ※主に広く市民が利用できる施設を対象としています。 小中学校や保育所、消防署などは除いています。		(よく月に1回以上利用する。)	(時々年に数回利用する程度。)	(ほとんど数年に数回利用しない。)	利用したことがない。	無効・無回答		関する必要があるなど、そのためにも利用したい	民間施設や市町村の施設を利用しているため。	利用料が高い、利用したいタイミングがないため。	施設の存在やサービスの内容を知らないため。	無効・無回答	
1	図書館(図書館、市民館図書館)	23.6	26.7	29.1	20.6	0.0	左側で「3」(ほとんどの理由を右側から選んでください)。「4」(代表的な理由を1つ選択)と回答された施設について	74.4	4.9	6.1	8.5	6.1	
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)	0.6	7.9	47.9	43.0	0.6		70.0	0.7	9.3	16.7	3.3	
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	10.9	40.6	27.3	20.6	0.6		68.4	11.4	6.3	10.1	3.8	
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)	3.0	36.4	30.9	29.1	0.6		72.7	0.0	4.0	20.2	3.0	
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	14.5	39.4	20.0	25.5	0.6		53.3	13.3	22.7	9.3	1.3	
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	13.3	20.0	35.2	30.3	1.2		72.2	0.9	3.7	14.8	8.3	
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	19.4	47.9	19.4	12.7	0.6		39.6	35.8	7.5	9.4	7.5	
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	19.4	39.4	29.7	10.9	0.6		52.2	13.4	7.5	11.9	14.9	
9	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	16.4	54.5	19.4	9.1	0.6		55.3	4.3	8.5	19.1	12.8	

問 6



問7

施設分類		べ き 。 た つ て も 、 ス を す 来 減	に わ し 。 た つ て も 、 ス を す 来 減	の サ ー ビ ス を 減	て 維 持 す べ き 。 た つ て も 、 ス を す 来 減	利 用 者 負 担 を 増 加 さ せ る こ と に よ り 縮 小 、 複 合 化 に よ	廃 止 す る こ と も や む を 得 な い 。 た つ て も 、 ス を す 来 減	わ か ら な い 。 た つ て も 、 ス を す 来 減	無 効 ・ 無 回 答
1	図書館(図書館、市民館図書館)	58.8			15.2	17.0	3.0	5.5	0.6
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)	7.9			29.1	36.4	16.4	9.1	1.2
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	33.3			50.3	14.5	0.0	1.2	0.6
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)	12.1			35.8	37.0	5.5	9.1	0.6
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	21.2			41.2	24.2	7.3	4.8	1.2
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	38.2			24.8	24.8	3.0	8.5	0.6
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	52.1			24.8	17.0	1.2	4.2	0.6
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	30.3			28.5	23.6	9.7	6.7	1.2
9	保育園(15園の公立保育園)	46.7			13.9	33.9	1.2	3.0	1.2
10	小学校(9校の小学校)	51.5			15.2	28.5	0.0	3.6	1.2
11	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	26.7			18.8	40.0	6.1	7.3	1.2

子育て世帯集計 結果のまとめ

問 5

- ・全ての施設で、全体の結果と比較して利用している傾向が高くなっている。
- ・特にスポーツ施設は、利用する傾向が高い。
- ・子育て支援施設は、全体の結果との比較では利用する傾向は高いものの、子育て世帯においても「利用したことがない」割合が約3割あり、「ほとんど利用しない」割合が最も多い。

問 6

- ・「市民生活に欠くことのできない施設以外は廃止」の割合が、全世帯の結果と比較して少ない。
- ・一方で、「市民サービスの縮小や利用者負担増加は少なく済むよう縮小を進める」の割合は、全体の結果と比較して多い。

問 7

- ・文化・芸術施設は、全世帯の結果と比較して「統合、複合化により縮小すべき。」が多くなっている。
- ・一方、子育て支援施設、公園は、「他のサービスを減らしてでも、将来にわたって維持すべき。」が多くなっている。

4. 地区別推計

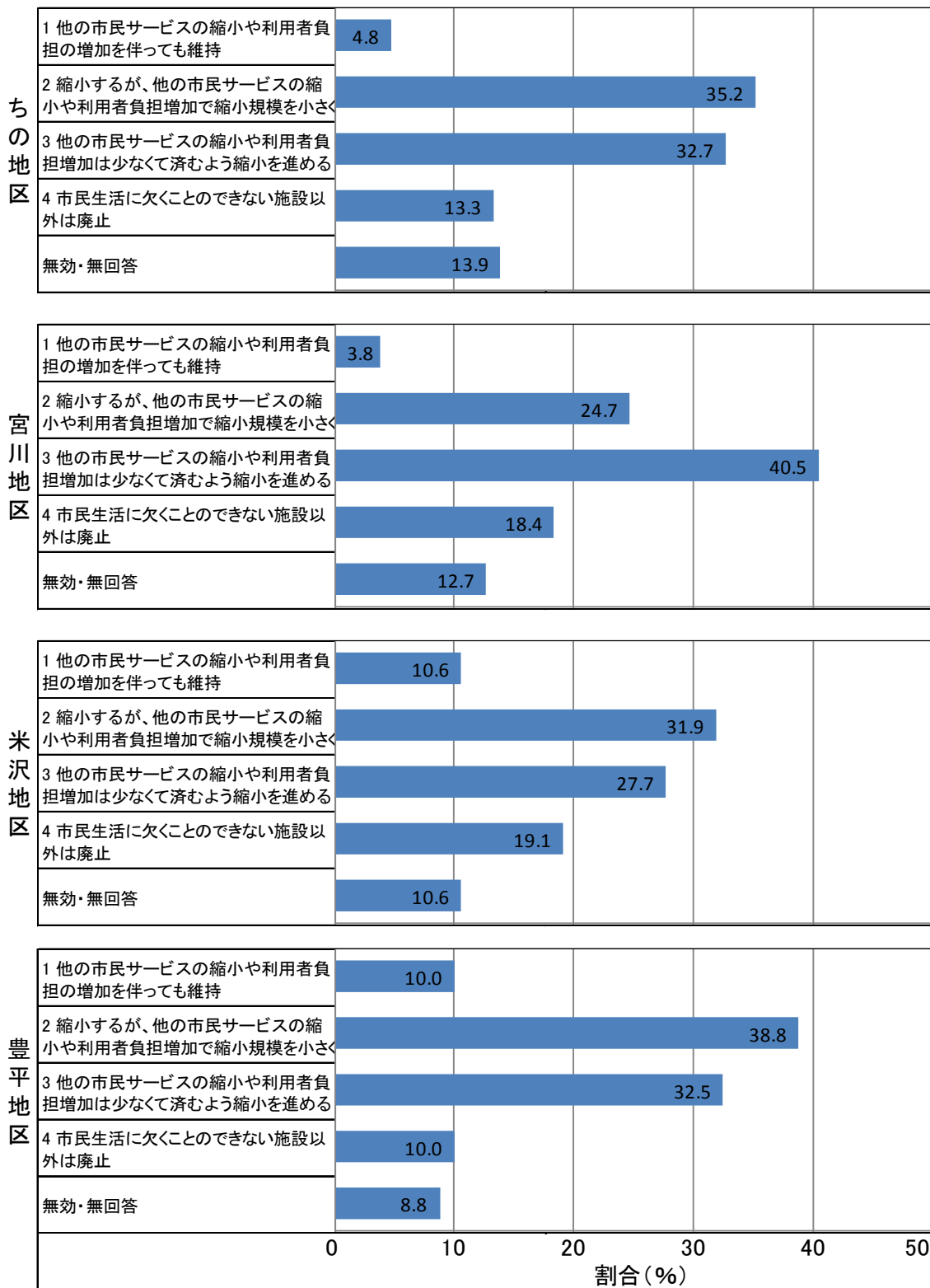
問5 最も割合が多かった項目

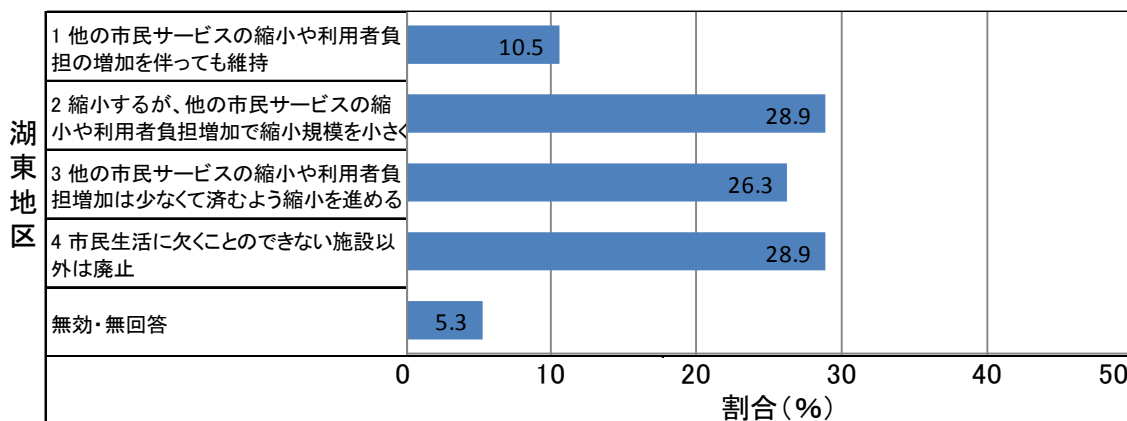
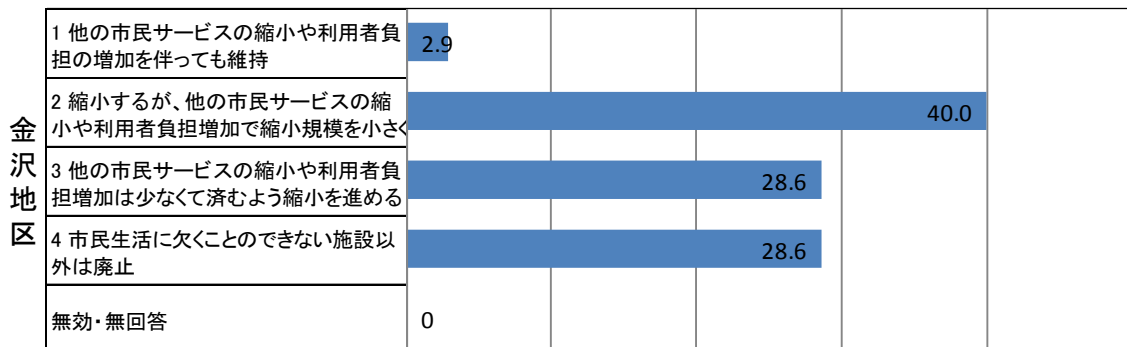
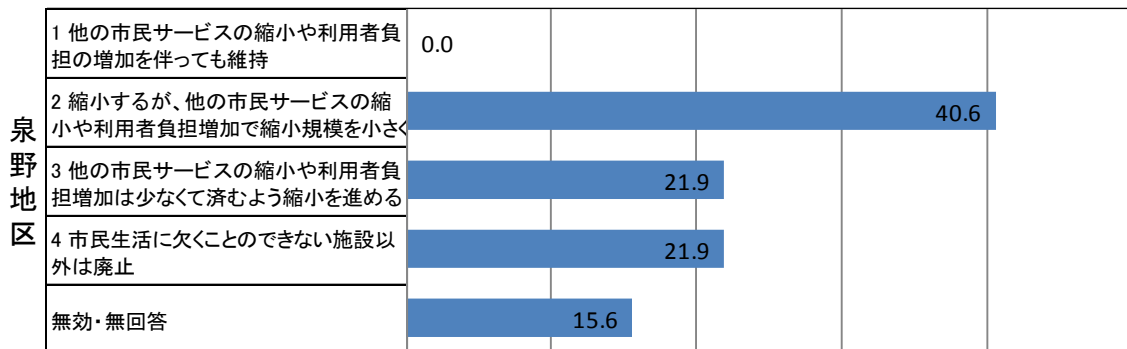
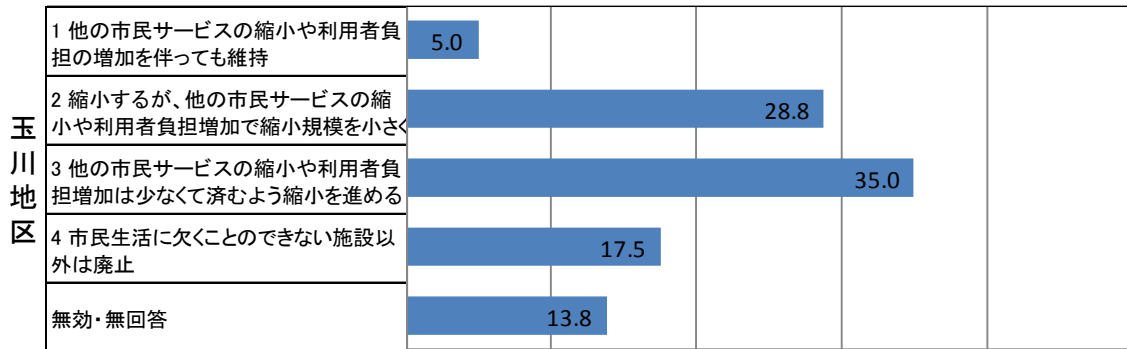
利用状況・利用しない理由		利用状況						利用しない理由					
施設の分類 ※主に広く市民が利用できる施設を対象 としています。 小中学校や保育所、消防署などは除いて います。		(よく 月に1回 以上。)	(時々 年に数回 する。)	(ほとん ど年に 数回し ない。)	利用 したこ とがあ い。	無効 ・無回 答		用関 心が ない など 、そ もそ も利 用す る必 要が ない ため 。	設民 間施 設を 利用 して いる ため 。	性間 に問 題の ため 。	利利 用料 が高 い、 利用 した い利 便時	施施 設の 存在 やサ ービ スの 内容	無効 ・無回 答
1	図書館(図書館、市民館図書館)			ちの 宮川 泉野 米沢 金沢 湖東 北山 豊平 中大塩 玉川			左側では、「3(ほとんどの理由を右側から選んで)」または「4(代表的な理由を1つ選び)」と回答された施設について	ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩					
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)			ちの 金沢 豊平 北山 玉川 中大塩	ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東			ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩					
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)			ちの 湖東 宮川 泉野 米沢 金沢 豊平 北山 玉川 中大塩				ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩					
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)		ちの 豊平 中大塩	宮川 泉野 米沢 金沢 北山 湖東 玉川				ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩					
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	中大塩	ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川					ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩	北山				
6	子育て支援施設(家庭教育センター、O123広場、CHUKOランドテクノ、地区こども館)			ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩				ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩					
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)		ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩					泉野 ちの 宮川 金沢 湖東 米沢 豊平 北山 玉川 中大塩					
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)		ちの 湖東 豊平 中大塩	泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川				ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩					
9	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)		ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩					ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩					

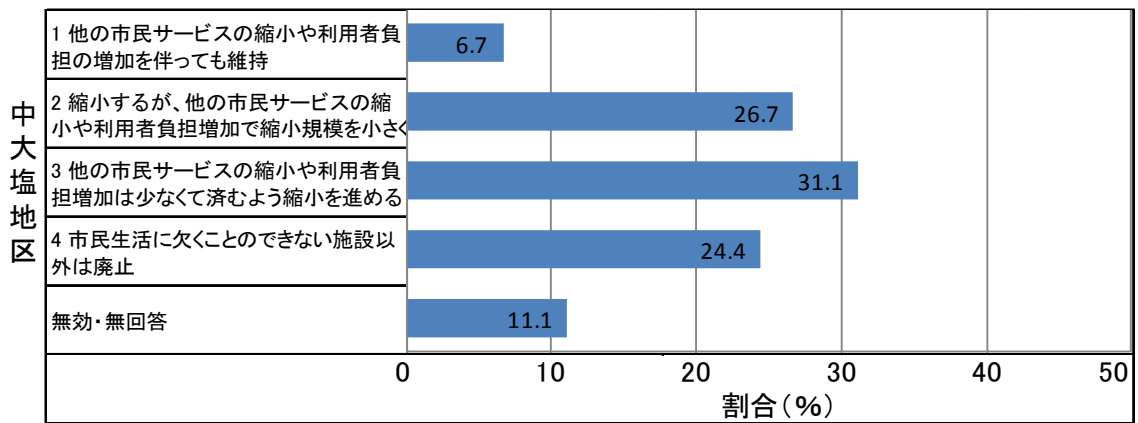
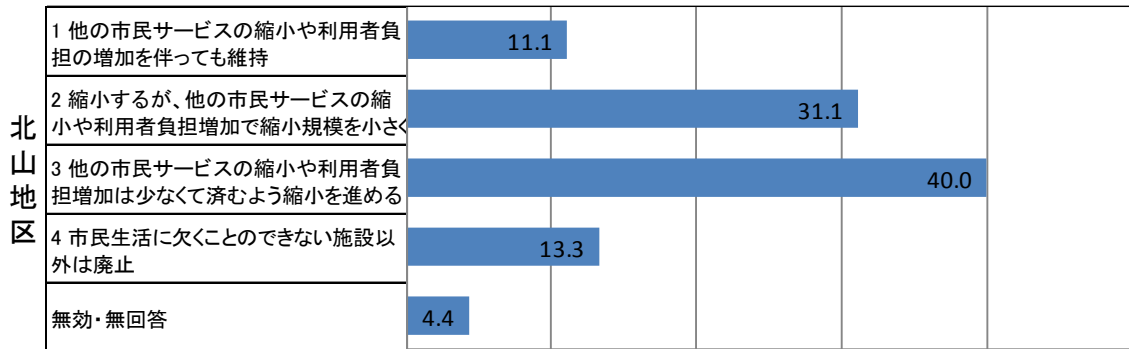
※黄色は全体集計で最も割合が多かった項目。

※1施設で最大値が2項目ある地区あり。

問 6







問7 最も割合が多かった項目

施設分類		べにら他 きわしの 。たてサ つてもビ て維、ス 持将を す来減	てりさ利 維、せ用 持、る者 す、事負 す来に担 べきにを 。たよ増 。たっ加	り統 縮合、 小複 す合 べき化 。に 。よ	む廃 を止 得する ない。こ 。とも 。や	わ か ら な い。 。	無 効 ・ 無 回 答
1	図書館(図書館、市民館図書館)	ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩	北山				
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)		泉野 米沢 北山	ちの 金沢 宮川 湖東 豊平 豊平 玉川 中大塩			
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)		ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩				
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)		ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川 中大塩	金沢			
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	中大塩	ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 米沢 北山 豊平 豊平 玉川 中大塩				
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	米沢 湖東 玉川 北山	ちの 泉野 宮川 金沢 豊平 豊平	金沢 中大塩			
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 豊平 玉川 中大塩	北山				
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	泉野	ちの 泉野 宮川 金沢 豊平 湖東 北山 中大塩	宮川 米沢 玉川	金沢		
9	保育園(15園の公立保育園)	ちの 泉野 宮川 金沢 豊平 湖東 北山 玉川 中大塩	米沢				
10	小学校(9校の小学校)	ちの 泉野 宮川 金沢 米沢 湖東 豊平 北山 玉川		中大塩			
11	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	泉野 米沢 湖東 中大塩	金沢	ちの 宮川 豊平 北山 玉川 中大塩			

※黄色は全体集計で最も割合が多かった項目。

※1施設で最大値が2項目ある地区あり。

地区別集計 結果のまとめ

問 5

- ・文化・芸術施設は、泉野、金沢、湖東の利用が少なく、公園は、ちの、湖東で利用が多い。

問 6

- ・「市民サービスの縮小や利用者負担の増加を伴っても維持」の割合が、米沢、豊平、湖東、北山で、他地区と比較して多い。
- ・「市民生活に欠くことのできない施設以外は廃止」の割合が、金沢、湖東、中大塩で多く、ちの、豊平、北山で少ない。

問 7

- ・子育て支援施設、公園、行政施設は、地区別の選択にばらつきがある。

5. 問6と問7間のクロス集計

問6選択肢1「公共施設による行政サービスは、他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加を伴っても維持すべきである。」を選択した人が問7のいずれを選択したか。

施設分類	維持するべきである	削減すべきである	他の市民サービスの縮小を伴っても維持するべきである	利用者負担の増加を伴っても維持するべきである	統合・複合化により縮小すべきである	廃止を断念しない	わからない	無効・無回答
1 図書館(図書館、市民館図書館)	44.9		30.6		6.1	2.0	14.3	2.0
2 博物館(尖石縄文考古館、八ヶ岳総合博物館、神長官守矢資料館)	22.4		42.9		12.2	4.1	16.3	2.0
3 スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	32.7		51.0		4.1	6.1	4.1	2.0
4 文化・芸術施設(市民館、美術館など)	26.5		51.0		8.2	2.0	10.2	2.0
5 温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	30.6		59.2		6.1	0.0	4.1	0.0
6 子育て支援施設(家庭教育センター、O123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	26.5		42.9		8.2	0.0	18.4	4.1
7 医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	59.2		28.6		0.0	4.1	6.1	2.0
8 公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	18.4		42.9		12.2	14.3	10.2	2.0
9 保育園(15園の公立保育園)	61.2		22.4		4.1	2.0	6.1	4.1
10 小学校(9校の小学校)	65.3		18.4		4.1	0.0	8.2	4.1
11 行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	40.8		20.4		14.3	6.1	12.2	6.1

問6 選択肢2「公共施設は、統合・複合化・廃止をして縮小していかざるを得ないが、他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加により、できるだけ縮小の規模は小さく抑え、維持すべきである。」を選択した人が問7のいずれを選択したか。

施設分類		べき。 にらた 。たつ ても 維持 す来 す来 減	他のサ ービス を来 減	利用 者負 担を 増加 させ るこ とによ り、 将来 にわた って 維持 すべ き。	縮小 、複 合化 によ	廃止 する こと もや むを 得な い。	わ か ら な い。 。	無効・無回答
1	図書館(図書館、市民館図書館)	44.1	34.6	11.8	1.1	6.5	1.9	
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)	12.2	46.0	30.4	1.9	7.2	2.3	
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	27.8	57.0	9.5	0.8	3.0	1.9	
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)	17.1	53.6	19.4	1.5	6.5	1.9	
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	22.8	54.0	12.2	4.6	4.9	1.5	
6	子育て支援施設(家庭教育センター、0123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	30.8	38.0	17.5	0.4	11.4	1.9	
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	56.7	30.0	10.3	0.4	1.5	1.1	
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	19.4	41.1	21.7	6.5	9.9	1.5	
9	保育園(15園の公立保育園)	47.5	25.1	21.3	0.4	3.8	1.9	
10	小学校(9校の小学校)	54.4	20.9	16.7	0.4	5.7	1.9	
11	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	28.5	35.7	23.6	2.3	8.4	1.5	

問6 選択肢3「他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加はできるだけ小さくて済むよう、公共施設は、統合・複合化・廃止をして、縮小を進めるべきである。」を選択した人が問7のいずれを選択したか。

施設分類		他に きわ 。た 。た ても 維、 持 す 来 減	てり 維、 持 す 来 。た 。た つ	り統 縮合 小、 複 合 化 。に よ	む廃 止 得 す な い 。こ と も や	わ か ら な い 。	無 効 ・ 無 回 答
1	図書館(図書館、市民館図書館)	44.8	20.6	26.7	1.4	5.7	0.7
2	博物館(尖石縄文考古館、ハケ岳総合博物館、神長官守矢資料館)	7.8	21.7	51.6	9.6	8.5	0.7
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	23.5	44.5	23.8	1.1	6.0	1.1
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)	11.0	33.8	41.3	4.3	7.5	2.1
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	24.2	43.4	22.8	5.0	4.3	0.4
6	子育て支援施設(家庭教育センター、O123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	24.2	22.4	32.7	3.6	16.7	0.4
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	51.2	27.4	16.0	1.1	4.3	0.0
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	15.3	19.2	34.2	15.7	14.9	0.7
9	保育園(15園の公立保育園)	37.0	13.2	40.9	1.8	6.4	0.7
10	小学校(9校の小学校)	43.8	12.1	35.9	0.4	7.1	0.7
11	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	19.6	16.7	46.3	6.8	10.3	0.4

問6 選択肢4「公共施設は、市民生活に欠くことのできないものを残して、それ以外は廃止すべきである。」を選択した人が問7のいずれを選択したか。

施設分類		他に必要とするものを減らす	維持することによる将来の増加	利用者負担を増加することによる増加	統合、複合化による縮小	廃止することによる得	わからない	無効・無回答
1	図書館(図書館、市民館図書館)	34.3	21.7	25.9	6.3	9.8	2.1	
2	博物館(尖石縄文考古館、八ヶ岳総合博物館、神長官守矢資料館)	7.7	22.4	38.5	16.8	11.9	2.8	
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	21.0	41.3	23.1	2.8	9.8	2.1	
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)	13.3	29.4	38.5	11.2	7.0	0.7	
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	16.1	44.8	21.7	9.1	7.0	1.4	
6	子育て支援施設(家庭教育センター、O123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	22.4	18.9	24.5	7.7	25.2	1.4	
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	55.2	23.8	14.7	2.1	2.8	1.4	
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	12.6	17.5	21.0	23.8	22.4	2.8	
9	保育園(15園の公立保育園)	42.0	18.2	26.6	2.8	9.1	1.4	
10	小学校(9校の小学校)	44.1	13.3	27.3	1.4	12.6	1.4	
11	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	24.5	17.5	33.6	11.9	11.2	1.4	

問6と問7間のクロス集計 結果のまとめ

- ・問6 選択肢1「公共施設による行政サービスは、他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加を伴っても維持すべきである。」を選択した人は、問7において
 - ①全ての施設で、「統合、複合化により縮小すべき。」の選択が少なく、施設を維持すべきとする傾向が高い。
 - ②博物館は、「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」の選択が多い。
- ・問6 選択肢2「公共施設は、統合・複合化・廃止をして縮小していかざるを得ないが、他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加により、できるだけ縮小の規模は小さく抑え、維持すべきである。」を選択した人は、問7において、
 - ①全体として、施設を維持すべき方向性を選択する傾向が高い。
 - ②博物館は、「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」の選択が多い。
 - ③公園は、「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」を選択する割合が多い。
 - ④行政施設は、「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」の選択が多い。
- ・問6 選択肢3「他の市民サービスの縮小や利用者負担の増加はできるだけ小さくて済むよう、公共施設は、統合・複合化・廃止をして縮小して、縮小を進めるべきである。」を選択した人は、問7において、
 - ①全体として、施設を縮小する方向性を選択する傾向が高い。
 - ②博物館、文化・芸術施設、子育て支援施設、公園、行政施設について、「統合、複合化により縮小すべき。」の選択が多い。
 - ③保育園について、「統合、複合化により縮小すべき。」の選択が多いことが際立っている。
- ・問6 選択肢4「公共施設は、市民生活に欠くことのできないものを残して、それ以外は廃止すべきである。」を選択した人は、問7において、
 - ①全体として、施設を縮小する方向性を選択する傾向であるものの「廃止することもやむを得ない。」を選択する傾向は高いとは言えない。
 - ②子育て支援施設は、「わからない。」を除き「統合、複合化により縮小すべき。」の選択が多い。
 - ③公園について、「廃止することもやむを得ない。」の選択が多い。

6. 問5の利用しない理由で「関心がないなど、そもそも利用する必要がないため。」を選択した場合の問7とのクロス集計

問7

施設分類		べにら他の きわし 。たて 。たつ ても 維、ス 持将を す来減	てりさ利用 維、せる 持将る す来こ 。たに 。たよ 。た増 。た加	り統 縮合 小、 す複 べき合 。化 。に 。よ	む廃 を止 得す ない 。こ 。と 。も 。や	わ か ら な い 。	無 効 ・ 無 回 答
1	図書館(図書館、市民館図書館)	27.7	28.7	24.3	4.2	13.4	1.7
2	博物館(尖石縄文考古館、八ヶ岳総合博物館、神長官守矢資料館)	7.3	29.1	39.1	10.6	11.9	1.9
3	スポーツ施設(総合体育館、野球場、陸上競技場、プール、国際スケートセンターなど)	17.5	47.5	20.5	2.5	8.9	3.2
4	文化・芸術施設(市民館、美術館など)	11.2	33.0	36.4	7.4	10.4	1.6
5	温泉施設(縄文の湯、望岳の湯、塩壺の湯「ゆうゆう館」など)	9.1	43.8	24.5	13.0	8.2	1.4
6	子育て支援施設(家庭教育センター、O123広場、CHUKOランドチノチノ、地区こども館)	22.8	29.6	24.5	3.4	17.8	2.0
7	医療施設(諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、泉野診療所、北山診療所)	40.2	34.4	20.5	0.8	3.3	0.8
8	公園(永明寺山公園、弓振公園、岳麓公園など)	9.7	20.3	25.9	19.5	21.8	2.8
9	保育園(15園の公立保育園)						
10	小学校(9校の小学校)						
11	行政施設(本庁舎、各地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターなど)	17.3	18.7	37.3	10.2	11.6	4.9

※保育園と小学校は、問5の回答項目にないため集計不可。

問5の利用しない理由で「関心がないなど、そもそも利用する必要がないため。」を選択した場合の問7とのクロス集計 結果のまとめ

- ・そもそも利用する必要がない市民であっても、医療施設については、「他のサービスを減らしてでも、将来にわたって維持すべき。」を選択する割合が多く、図書館、スポーツ施設、温泉、子育て支援施設については「利用者負担を増加させることにより、将来にわたって維持すべき。」とする割合が多い。